

令和元年度

事業報告及び財務報告書

社会福祉法人

東村山市社会福祉協議会

目 次

事業報告	1
I 福祉のまちづくり事業	
1 地域福祉活動推進事業	2
2 標準服リユース事業	10
3 啓発事業	10
4 ボランティアセンター	11
5 福祉教育活動の推進	14
6 高齢者生きがい事業	16
7 健康長寿のまちづくり推進室事業	19
8 老人クラブ等助成事務及び育成相談事業	19
II 相談事業	
1 総合相談事業	21
2 生活福祉資金貸付事業	22
3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	25
4 応急小口資金貸付事業	25
5 中部地域包括支援センター（基幹型）	26
6 中部地域包括支援センター（地域型）	28
7 東村山市基幹相談支援センター	32
8 福祉サービス総合支援事業	37
9 成年後見制度推進事業	40
III 在宅福祉サービス事業	
1 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業	45
2 居宅介護支援事業、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援事業	47
3 ふれあい事業	48
4 ガイドヘルパー派遣事業	49
5 手話通訳者派遣事業	50
6 移送サービス事業	53
7 車いす短期貸出事業	54
IV 法人運営	
1 組織運営事業	55
2 計画推進・調査・広報・連絡調整	61
財務報告	66

平成31年3月に当協議会が法人化50周年を迎えたことを受け、令和元年度の社協大会を50周年記念大会とし、祝賀会の開催、50周年記念誌発行、福祉協力員感謝のつどいを開催するなど、これまで当協議会を支えていただいた大勢の方々に感謝の気持ちを表すように取り組んだ一年間でした。

事業の面では、基幹相談支援センター業務及び第1層生活支援コーディネーター事業を新たに受託し、加えて地域包括支援センター業務の強化を行いました。また、住民活動の支援とネットワーク機能の強化を目指し、組織と業務分担の見直しを行いました。期待通りの成果を上げることが出来なかった部分もあり、課題が明らかになった一年間でもありました。

なお、年度の終盤では新型コロナウイルス感染症の影響により、住民活動がほぼ全面的にストップするという非常事態に遭遇し、第3回評議員会を決議の省略としました。

以下、令和元年度の重点目標に沿って一年間の事業概要を報告します。

1. 福祉協力員会の運営強化と住民活動支援方法の明確化

まちづくり支援系の業務分担を見直しましたが、新たな分担が地域の実態にそぐわなかったことなどから、改善すべき点が多く見つかりました。一方で、福祉協力員会は2ページから6ページにかけて報告しているとおり活発に活動しており、引き続き東村山市の地域福祉活動の中核を担っています。

2. 地域住民や団体及び関係機関のネットワーク活動の推進

各事業で市とも連携しながら、それぞれの分野における関係機関の連絡会等を組織しており、事務局を担うなど運営をサポートしています。令和元年度は第1層生活支援コーディネーター事業を受託し、住民同士、あるいは住民と関係機関とのネットワークも重層的に強化しました。

3. 受託する基幹相談支援センター事業の運営

「るーと」に基幹相談支援センターの機能が加わり、従来の相談活動に加えて、障害福祉分野全体の向上を図るため、市と協働しながら中核的な役割を果たしました。

4. 第5次社協発展・強化計画を基に第5次地域福祉活動計画の推進

第5次地域福祉活動計画に掲げる4つの重点アクションのうち、「あいさつ+ひと言運動」「子ども協力員」が実際に動き始め、「場所&場づくり」もアクションチームで精力的に検討を重ねています。「町なか護美プロジェクト」については、地域懇談会のテーマにしながらか実施を模索している町があります。

5. 人事評価制度の確立と人材育成研修の実施

人事評価制度については、令和3年度からの導入に向けて基本的な考え方を整理しました。また、令和元年度から、16名にロジックモデル作成の連続研修を実施中です。

I 福祉のまちづくり事業

1 地域福祉活動推進事業

(1) 福祉協力員会活動の推進（発展・強化計画関連事業）

【協力員数 597名 ※令和2年3月31日現在】

東村山市の地域福祉を支える活動として、各町の状況に合わせた会の自主的な運営と、様々な関係機関、団体等との連携・協力を支援した。尚、社協会員を対象とした活動には取り組めていない。※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、3月に実施予定の行事、会議等は中止。

◇地区長会の開催

回	日時・会場	内 容
1	4/17(水) 10:00~12:00 社協・地域福祉活動室	1. 社会福祉協議会平成31年度組織体制について 2. まちづくり支援係業務実施体制について 3. 事務所内の配置変更について 4. その他
2	2/3(月) 13:30~15:30 社協・地域福祉活動室	1. 令和2年度東村山市社会福祉協議会の事業について 2. 令和元年度事業及び決算報告書、令和2年度事業計画・予算書について 3. その他

◇13町ごとの活動支援

町名	交流行事の実施	定例活動、個別支援活動
本 町	○けんこう茶話会 (7/23・53名) ○長寿を共に祝う会 (9/7)	大岱小学校新1年生下校見守り
久米川町	○長寿を共に祝う会 (9/29) ○久米川町福祉バザー(11/17) ○地域活動マッチングイベント(2/15)	○ふれあい親子サロン (第1・3金曜日) ○元気アップ萌木 (毎週水曜日) ○サロン久米川1丁目 (毎週月曜日)
秋津町	○ふれあい茶話会 ・1・5丁目(6/7, 11/8) ・2丁目(5/14, 12/10) ・3丁目(11/16, 2/14) ・4丁目(10/16) ○長寿を共に祝う会 (9/28) ○秋津ふれあい福祉バザー(11/24)	○サロンひなぎく (第3火曜日) ○ふらっとカフェ (第3月曜日) ○里のかふえ (毎週火曜日)
青葉町	○長寿を共に祝う会 (9/29) ○吉田さろんミニバザー (12/1)	○2丁目昼食会 (第2.4木曜日…下堀自治会館) ○3丁目昼食会 (第1.3木曜日…青葉地域センター) ○おしゃべり会 (第1.3月曜日・吉田さろん)
恩多町	○長寿を共に祝う会 (記念品配付)	○恩多おしゃべり会 (第4金曜日) ○グリーンサロン (第3金曜日) ○恩多見守り隊・キレイ化 (第1水曜日) ○野火止小、大岱小学校新1年生下校見守り

萩山町	○2・3・4丁目お楽しみ会(6/11・89名) ○5丁目(10/18・57名) ○1丁目(11/22・45名) ○長寿を共に祝う会(9/14)	○ふれあい交流「はぎの花」 ・1丁目：第4金曜日 ・2丁目：第3木曜日 ○ミニ喫茶はぎ(第1水曜日)
栄町	○長寿を共に祝う会(記念品配布) ○いっぷくバザー(10/28・29)	○栄サロン(第4火曜日) ○大岱小学校新1年生下校見守り
富士見町	○ふれあいゲートボール(4/20・35名) ○ふじみお楽しみ茶話会(6/7・105名) ○長寿を共に祝う会(9/14) ○ふれあいコンサート(10/5・186名)	○ふれあいサロン 花いかだ (6/11、9/17、12/18、2/12)
美住町	○みすみふれあい交流(6/10・56名) ○長寿を共に祝う会(9/21)	○みすみサロン ・第1サロン最終金曜日 (都営美住第三アパート) ・第2サロン第2月曜日 (グリーンタウン1番街第1集会所)
廻田町	○ふれあい交流会「グラウンドゴルフ」 (6/23・54名) ○長寿を共に祝う会(9/29) ○講座「口腔ケアについて学びましょ う」(1/18・37名)	○めぐりたサロン(第4水曜日) ○めぐりたサロン料理教室 (偶数月第3水曜)
多摩湖町	○長寿を共に祝う会(記念品配付)	○手芸サロンひまわり(第1月曜)
諏訪町	○諏訪町おたのしみ会(9/23・52名) ○長寿を共に祝う会(記念品配布) ○講座「認知症サポーター養成講座」 (2/22・42名 諏訪町ゆつと共催)	
野口町	○長寿をともに祝う会(9/16) ○「鏡餅づくり」ころころの森と共催 (12/21・10名) ○町あるき(2/22・7名)	

◇施設などへの協力、広報紙の発行、研修、会議

町	地域での連携 施設・学校などへの協力	広報紙発行 講座開催、研修	会議(全体会・部会等)
本町	○第34回本町さくらまつり (4/7)	○広報「ゆかいなほんちょう」 (1,200部,1,000部・2回) ○男の料理教室 (4/27,7/27,11/17,2/22) ○バス研修(6/5・櫛かんざし美術 館他)	○全体会(8回) ○役員会(10回) ○長寿実行委員会 ○ミニコミ紙編集委員会 ○けんこう茶話会実行委員会 ○さくらまつり実行委員会
久米川町	○空堀川川まつり(5/26) ○梅岩寺盆踊り(8/3・9名) ○久米川共同作業所行事 ボ ランティア(5/26,9/27) ○ふれあいセンターまつり (10/20・3名) ○まちかど運動(12/22・15名)	○広報「久米川町福祉だより」 (3,500部・2回) ○バス研修 (5/10 翔裕園他見学20名) ○福祉カレッジ(6/23・33名) ○災害支援バス研修(11/15 長野 方面・19名)	○役員会(13回) ○全体会(6回)

秋津町	<ul style="list-style-type: none"> ○施設へのボランティア活動 ・はるびの郷・毎週月曜日 ・あきつの里・第1・3土曜 ○ふれあいセンター美化活動 ○総合水防訓練(5/24) ○秋津公民館文化祭(11/1) ○各避難所運営連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「あきつ」(4,000部・3回) ○講座「男の料理」(7/28, 10/27, 2/23) ○バス研修(11/11) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(7回) ○役員会(4回), 四役会 ○長寿実行委員会 ○バザー実行委員会 ○ハーモニカ・ウクレレバンド「ドレミファどん」(第2・4金曜練習、サロン・茶話会等で演奏)
青葉町	<ul style="list-style-type: none"> ○青葉町夏祭り(8/24, 25) ○白十字ホーム・青葉の杜等でのボランティア活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「青葉町の福祉」(4,000部・4回発行) ○講座「男の料理」(5/8, 8/13, 11/12, 2/11) ○バス研修(10/28, 16名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(5回) ○広報打合せ(随時) ○各係打合せ(随時)
恩多町	<ul style="list-style-type: none"> ○さくらテラス青葉町 散歩付添、車いす整備(第2, 4水曜日) ○三代交流会 ○恩多町納涼祭 ○なごみの里防災訓練(7/26) ○東村山高校防災訓練(10/4) ○恩多ふれあいフェスティバル(10/20) ○文化村自治会フリーマーケット(11/17) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「みんなの恩多町」(9月・3000部 3月・1500部) ○男の料理教室(6, 9, 12月の第1火) ○バス研修(6/7・立川・昭和天皇記念館、森永乳業多摩工場見学20名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ○役員会(10回) ○定例会(11回) ○ミニコミ紙編集委員会(第1水曜日)
萩山町	<ul style="list-style-type: none"> ○学童クラブ交流会(8/22) ○親子のひろば「どんぐり」スタッフボランティア(第2木曜日) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「はぎやま」4,000部・2回 ○バス研修『立川防災館』(7/17・22名) ○協力員講座「口腔ケアについて学ぼう」(7/25・44名) ○東京防災学習セミナー(7/31・20名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(10回) ○役員会(11回) ○ミニコミ誌編集会議(6回) ○長寿実行委員会(3回) ○あいさつ運動推進委員会(5回) ○避難所運営連絡会(4回)
栄町	<ul style="list-style-type: none"> ○第三中学校避難所運営連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「さかえ町福祉協力員会だより」(2回発行) ○バス研修「秩父銘仙館」(7/5・18名) ○協力員研修「東村山市における地域ケアの歴史を学ぼう！」(2/1・29名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(11回) ○役員会(11回) ○ミニコミ紙編集会議
富士見町	<ul style="list-style-type: none"> ○さつき荘お楽しみお食事会(5/23, 11/14・4名) ○あゆみの家合同祭り(6/2・3名) ○ハトホームお話相手(6/26, 9/4, 11/6・15名) ○さやま園夏まつり(7/23・4名) ○村山苑合同納涼祭(7/25・4名) ○富士見憩の家・児童館との交流会(9/30・3名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「ふれあい富士見町」(1回発行) ○バス研修「南極・北極科学館」(10/23・21名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(10回) ○役員会(9回) ○長寿実行委員会 ○実行委員会 ・お楽しみ会 ・ゲートボール ・バス研修 ・ミニコミ紙編集委員会 ・ふれあいコンサート

	○合同さやま園祭り(10/20・2名) ○村山苑野外料理会(10/3・4名) ○ライフサポートつばさ祭り (9/22・3名) ○ふじみ玉すだれ一座(ボラン ティア公演 15か所)		
美住町	○団地夏祭り(7/28・11名) ○団地祭り(10/27・12名)	○バス研修「秋津療育園・はるび の郷 施設見学」(5/20・17名) ○レクリエーション講座(7/17・15名) ○広報「みすみ」(1回発行)	○全体会(11回) ○役員会(11回) ○長寿実行委員会 ○ニコ紙編集委員会
廻田町	○桜まつり(4/7) ○回田小学校避難所運営連絡会 ○第七中学校避難所運営連絡会 ○第四中学校避難所運営連絡会	○サロンバス研修(5/31・青梅櫛か んざし美術館・25名) ○バス研修「渋沢栄一記念館」 (11/15・17名) ○広報「めぐりたクッション」 (1回発行)	○全体会(10回) ○役員会 ○長寿実行委員会 ○各係打合せ
多摩湖町	○多摩湖町さくらまつり(4/6) ○昼食会(6/24, 11/25) ○多摩湖町納涼の集い(8/3) ○ふれあいセンターまつり(8/18)	○広報「ふれあいたまこ」 (2,300部・1回)	○役員会(11回) ○全体会(11回)
諏訪町	○白十字V0(8回・57名) ○化成小V0(3回・21名) ○化成小・白十字ホーム里孫活動 (16回・59名) ○化成小認サポ(1回・10名)	○広報「わが町諏訪町」(2回発行) ○バス研修(6/7・ジブリの森美術 館・18名) ○新任協力員研修(6/19・9名)	○全体会(6回) ○運営委員会(4回) ○長寿実行委員会 ○各係打合せ
野口町	○白十字ホームボランティア(2回・8名) ○猿田彦神社夏まつり (8/3~4・12名) ○てんしゃばフェスタ(9/22・4名) ○地蔵まつり(11/3・23名) ○北山小認サポ(1/15・2名)	○広報「たのしいまち野口町」 1回・1,600部 ○バス研修「多摩六都と江戸たても の園」見学(10/16・16名)	○全体会・総会(3回) ○役員会(11回) ○ふれあい委員会(2回) ○研修委員会(2回) ○地域交流委員会(2回) ○広報委員会(3回)

◇各町の活動財源

町名	自主事業	財 政				協 力 員 数	会 員 数
		社協 助成	自主 事業	その他	合計		
本 町	桜まつり出店収入等	144,640	106,205	187,913	438,758	31	264
久米川町	バザー収入等	209,620	303,651	554,786	1,068,057	65	715
秋津町	バザー・茶話会等参加費	206,660	322,704	175,248	704,612	75	493
青葉町	バザー・サロン等参加費	235,280	563,331	362,586	1,161,197	47	437
恩多町	バザー収入、サロン参加費	196,720	132,710	476,726	806,156	58	351
萩山町	喫茶、サロン参加費	189,980	40,297	489,274	719,551	40	423
栄 町	バザー・サロン参加費	169,620	52,825	293,129	515,574	50	246
富士見町		133,440	0	361,051	502,491	38	493

美住町	サロン参加費・団地祭等出店	163,160	146,680	463,985	773,825	30	257
廻田町	サロン参加費	147,940	100,500	263,108	511,548	31	266
多摩湖町	桜まつり出店・ひまわり作品販売	163,700	150,610	522,216	836,526	43	354
諏訪町	フリマ出店・講座等参加費	172,460	34,335	248,384	455,179	50	578
野口町	地藏まつり・夏まつり出店	139,260	269,706	544,300	953,266	27	469

※会員数は事務局扱い(352)と市外(67)を除く

(2) 地域ネットワーク活動の推進(発展・強化計画関連事業)

項目	実績				
第1層生活支援コーディネーター事業	<p>平成31年4月から、第1層生活支援コーディネーター1名がまちづくり支援係に配置され、ネットワーク担当として3名の体制で事業を実施した。市、第1層、第2層が共通認識をもって事業展開ができるよう、事業関係者間の情報の共有や整理をしつつ、第2層の業務が円滑に行われるよう努めた。</p> <p>◇地域資源や地域の生活支援ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援ニーズのアンケート調査の作成・実施 自立支援型地域ケア会議への参加(オブザーバー) 地域懇談会の実施・参加 <p>◇第1層協議体の設置に向けた検討</p> <p>『地域活動団体の担い手の不足』や『生活支援サービスの創出』をテーマとして、第1層協議体の設置に向けて市との検討を行った。</p> <p>◇第2層生活支援コーディネーターの支援</p> <p>各圏域における第2層コーディネーターの円滑な業務遂行と、全市的な基準に基づく地域づくりのため、会議開催、目標シートの作成、研修等の企画・調整、情報集約等、協働して推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーター会議(毎月第3月曜日) <table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>4/15、5/20、6/17、7/22、8/20、9/17、10/21、11/18 12/16、1/20、2/17、3/23 (合計12回)</td> </tr> <tr> <td>検討内容等(主なもの)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 各圏域の活動報告/情報共有 市全域、各圏域の目標の設定について 元気アップマップの集約について 生活支援ニーズ調査について マッチングイベントの実施に向けての検討 自立支援型ケア会議における検討事例の課題の整理 生活支援コーディネーター研修会について(11/18、講師;菱沼幹夫准教授) プレゼン大会(2/10)について </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 作業部会(不定期開催:5/31、7/8、9/9、12/10) 圏域ごとの協働(南部地区マッチングイベント、西部地区(美住町)誰でも通える居場所づくりへの働きかけ) <p>◇2019介護予防大作戦 in 東村山</p> <p>介護予防・健康寿命の延伸にむけた啓発を行うとともに、住民の主体的な取り組みを促し、関係者間の情報共有・連携協働をサポートした。各町にて推進委員会等を立ち上げ、地域開催を実施した。</p>	開催日	4/15、5/20、6/17、7/22、8/20、9/17、10/21、11/18 12/16、1/20、2/17、3/23 (合計12回)	検討内容等(主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> 各圏域の活動報告/情報共有 市全域、各圏域の目標の設定について 元気アップマップの集約について 生活支援ニーズ調査について マッチングイベントの実施に向けての検討 自立支援型ケア会議における検討事例の課題の整理 生活支援コーディネーター研修会について(11/18、講師;菱沼幹夫准教授) プレゼン大会(2/10)について
開催日	4/15、5/20、6/17、7/22、8/20、9/17、10/21、11/18 12/16、1/20、2/17、3/23 (合計12回)				
検討内容等(主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> 各圏域の活動報告/情報共有 市全域、各圏域の目標の設定について 元気アップマップの集約について 生活支援ニーズ調査について マッチングイベントの実施に向けての検討 自立支援型ケア会議における検討事例の課題の整理 生活支援コーディネーター研修会について(11/18、講師;菱沼幹夫准教授) プレゼン大会(2/10)について 				

町名	地域推進委員会の開催	地域開催日	参加者数
本町	6/12 7/24 9/26 11/22 12/11	11/29 (金)	140名
久米川町	6/28 7/29 8/26 9/23	10/26 (土)	181名
秋津町	5/21 7/8 12/23	12/8 (日)	240名
青葉町	6/7 7/12 8/19 9/26 11/28	10/26 (土)	105名
恩多町	6/24 9/9 11/15	12/8 (日)	160名
萩山町	6/13 8/1 9/19 10/24 12/12	11/30 (土)	157名
栄町	5/24 7/25 9/30 11/7 12/19	11/17 (日)	55名
富士見町	5/9 6/20 7/18 9/19 10/24 11/28	11/14 (木)	91名
美住町	6/11 7/1 8/19 9/17 10/1 11/12 12/17	11/24 (日)	95名
廻田町	6/25 7/30 9/4 10/17 12/17	11/30 (土)	121名
多摩湖町	5/17 7/16 8/22 10/1 11/11	10/27 (日)	125名
諏訪町	6/27 8/2 9/18 10/21	11/24 (日)	130名
野口町	6/20 7/18 8/6 9/7 11/21 1/27	10/6 (日)	104名
合計			1,704名

*前年度比+163名

- ・中央大会開催は、実行委員会（7/23, 10/23, 1/17）、及び役員会（7/16, 10/8, 11/12, 1/10, 3/4）を開催して準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となった。

◇地域活動マッチングイベントの開催

住民の社会参加と団体間の交流を目的として、健康増進課・第2層生活支援コーディネーター等と共催で地域活動マッチングイベントを開催した。

- ・事前説明会（10/31, 11/1）と参加団体説明会（1/16）の開催
- ・地域活動マッチングイベント当日

開催日	場所	出展団体数	当日参加者数
2/15 (土)	東村山市民スポーツセンター	49 団体	617 名

⑥生活支援コーディネーター研修会・連絡会などへの参加

- ・生活支援コーディネーター新任研修（6/17, 6/18）
- ・生活支援コーディネーター現任研修への参加（計6回）
- ・東京ホームタウンプロジェクト公開講座（6/5）
- ・第1回東村山市介護サービス事業者ネットワーク（Kネット）研修会（7/25）
- ・第1回生活支援体制整備事業に係る情報交換会（7/26）
- ・自立支援型ケア会議 研修会（11/21）
- ・事業者連絡会 研修会（1/16）

◇近隣他市の先駆的な取組みの視察

- ・西荻・善福寺地区オープンサロ DAY（5/17・杉並区）サロン巡りツアー企画
- ・高齢者の暮らしをサポートする担い手養成講座（7/4・西東京市）

地域ネットワーク活動の支援

◇地域ネットワーク活動の支援

- ・活動の運営推進、課題解決等のため、会議や活動に参加した。
 【諏訪町ゆっと】、【萩山町あいさつ運動】、【青葉安心ネット】
 【アミーゴ青葉制作委員会】、【秋津あんしんネット】、
 【本町だいじょうぶだぁネット】、
 【野口町あいさつふれあい運動実行委員会】、【富士見町あいさつ運動】
 【WE LOVE 恩多町プラン推進会】
- ・地域ネットワーク団体交流会
 上記団体間の交流会の開催支援および参加した。
 2/18（火）10：00～12：00 社協：地域福祉活動室

◇地域懇談会の開催

町	日 時	会 場	参加者
本 町	7/27 13:30～15:30	市民センター	33 名
	11/16 13:30～15:30	久米川病院多目的ホール	32 名
秋津町	8/28 18:30～21:00	秋津公民館	40 名
	9/24 18:30～21:00	秋津公民館	36 名
	10/30 18:30～21:00	秋津公民館	16 名
恩多町	5/27 13:30～15:30	恩多ふれあいセンター	51 名
	10/7 13:30～15:30	恩多ふれあいセンター	32 名
	1/28 13:30～15:30	恩多ふれあいセンター	33 名
萩山町	7/23 18:00～19:30	萩山憩いの家	45 名
	12/16 18:00～19:30	萩山憩いの家	38 名
栄町	7/24 18:30～20:00	栄町ふれあいセンター	22 名
	12/11 18:00～19:30	栄町ふれあいセンター	21 名
富士見町	7/13 14:00～16:00	救護施設村山荘 訓練棟	67 名
	12/12 14:00～16:00	救護施設村山荘 訓練棟	66 名
美住町※	1/18 13:30～15:00	グリーンタウン美住第1集会	34 名
諏訪町	6/26 13:30～15:30	白十字ホーム	34 名
	10/24 13:30～16:00	ふるさと歴史館	30 名
	1/23 18:30～21:00	社会福祉センター	29 名
野口町	7/3 19:00～21:00	地域福祉センター	40 名
	12/20 18:00～21:00	地域福祉センター	35 名
	3/18 18:30～21:00	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-

※美住町地域懇談会では誰でも通える居場所「ちょこっと c a f e ふれあい」が発足。

◇自治会・学校等の地域防災活動

地域防災活動へ積極的に関わり、住民同士のつながり支え合うまちづくりに参画した。

◇避難所運営連絡会への参画

市内の各地区で開催された避難所運営連絡会に、福祉協力員会と共に参加した。

「ふれあいスペース・いっぷく」の運営	◇運営連絡会の開催 地域のふれあいと交流のよりよい場づくりを目指して、利用団体等と意見交換を行った。そこでの意見により、緊急時用の車いすの設置を行った。 第1回 7月29日(月) 13:30~15:30 参加者; 13団体16名 第2回 11月18日(月) 13:30~15:30 参加者: 13団体16名 内 容; 団体の活動状況(情報交換)、利用予定の確認、利用についての意見交換、大掃除																																							
	◇住民活動の拠点 南部エリアの拠点として栄町・萩山町福祉協力員会の会議や事業での利用のほか、高齢者や障害者のサロン活動、ボランティアグループの話し合いの場など様々な地域活動で利用されている。 利用実績(延べ)																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>264</td> <td>230</td> <td>276</td> <td>261</td> <td>185</td> <td>260</td> <td>270</td> <td>253</td> <td>248</td> <td>209</td> <td>240</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	団体数	24	18	25	24	19	23	25	24	23	20	23	-	人数	264	230	276	261	185	260	270	253	248	209	240	-
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																											
	団体数	24	18	25	24	19	23	25	24	23	20	23	-																											
人数	264	230	276	261	185	260	270	253	248	209	240	-																												
※3月新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に使用中止																																								
◇ボランティア活動等の支援 ベルマークボランティア 日 時; 毎月第1火曜日 13:30~15:00 内 容; ベルマークの企業別整理、計算 介護予防体操 日 時; 毎月第1・2・4月曜日 10:00~11:30																																								

(3) 地域福祉活動の支援

項 目	実 績
助成金の交付	平成31年度の助成金を各団体に交付した。 ◇地域福祉活動助成(11団体) 500,000円 ◇当事者団体助成(10団体) 366,000円 ◇ふれあい・いきいきサロン運営費助成(55団体) 1,193,090円
ふれあい・いきいきサロン数	◇ふれあい・いきいきサロン 64団体 73か所(高齢者、障害者、子育て、世代間交流サロン等)
サロン・スタッフ交流会	◇サロンスタッフ交流会 in 東部エリア 日 時; 8月27日(火) 10:00~12:00 参加者; 58名/内容; 情報交換 ◇サロンスタッフ交流会 in 北部エリア 日 時; 9月2日(月) 14:00~16:00 参加者; 26名/内容; 情報交換 ◇サロンスタッフ交流会 in 西部エリア 日 時; 3月31日(火) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2 標準服リユース事業

(1) 標準服リユース事業

項 目	実 績
事業の検討	昨年度より引き続き、ファンドレイジングチーム（FRT）にて事業実施に向けて譲渡の手順、書式、内規等の検討を行った。（FRT 会議 7 回）
募集と広報	寄付受付；福祉だより（10 月、3 月）、チラシにて年間を通じて、標準服の寄付を呼びかけた。 寄付件数；21 件／寄付者へお礼状をお送りした。
標準服の譲渡	関係機関を通じて、標準服を必要とする方へ案内した。 12 月 20 日より譲渡を開始した。譲渡件数；4 件

3 啓発事業

(1) 2019 障害者週間・福祉のつどい

項 目	実 績																								
運営委員会	◇前年度同様、市内施設職員有志による 6 名の運営委員を組織して、オブザーバーの市障害支援課と共に企画・運営にあたった。今年度は公式キャラクター募集、つどいキャッチフレーズ（つなげよう・どんどんかがやく・いいみらい）作成・グッズ作成含む、オリパラ企画（パラスポ紹介のパネル展示、ボッチャ体験）などに取り組んだ。4 月～2 月の間 9 回の運営委員会を開催した。																								
実行委員会	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日にち</th> <th>内 容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回</td> <td>7/18</td> <td>自己紹介、各部門参加確認、グループワーク</td> <td>26 名</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>9/19</td> <td>計画書作成、チラシ・ポスター、グループワーク</td> <td>25 名</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>10/17</td> <td>プログラム、アンケート景品、グループワーク</td> <td>27 名</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>11/21</td> <td>タイムスケジュール、キャッチフレーズ・グッズ確認</td> <td>30 名</td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>12/19</td> <td>反省会、アンケート集計結果</td> <td>20 名</td> </tr> </tbody> </table>		日にち	内 容	人数	第 1 回	7/18	自己紹介、各部門参加確認、グループワーク	26 名	第 2 回	9/19	計画書作成、チラシ・ポスター、グループワーク	25 名	第 3 回	10/17	プログラム、アンケート景品、グループワーク	27 名	第 4 回	11/21	タイムスケジュール、キャッチフレーズ・グッズ確認	30 名	第 5 回	12/19	反省会、アンケート集計結果	20 名
	日にち	内 容	人数																						
第 1 回	7/18	自己紹介、各部門参加確認、グループワーク	26 名																						
第 2 回	9/19	計画書作成、チラシ・ポスター、グループワーク	25 名																						
第 3 回	10/17	プログラム、アンケート景品、グループワーク	27 名																						
第 4 回	11/21	タイムスケジュール、キャッチフレーズ・グッズ確認	30 名																						
第 5 回	12/19	反省会、アンケート集計結果	20 名																						
実施内容	<p>◇開催期間；12 月 7 日（土）～8 日（日）10：00～15：30</p> <p>◇会 場；中央公民館（1 階展示室、2 階第 3 集会室、3 階ホール、他）</p> <p>◇来場者数；約 900 名（期間中延べ人数）、アンケート回収 365 枚</p> <p>◇内 容；</p> <p>1 階展示室 ○団体紹介パネル 21 団体 ○作品展 あっとアート展（出展団体 12 団体） ○自主製品販売 あったかマーケット（10 団体が販売）</p> <p>2 階第 3 会議室 ○自立・自活の生活用品展示（参加者；50 名） ○体験コーナー（手話体験、アロマ体験） ○情報 PR コーナー（相談コーナー；7 名）</p> <p>3 階ホール ○発表会（9 団体 11 グループ 来場者；230 名）</p> <p>オリパラ企画 ○ボッチャ体験（77 名）、パラスポパネル展示</p>																								

4 ボランティアセンター

(1) ボランティア・市民活動相談（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
相談及び調整	<p>①様々な相談を受け止め、解決に向けて、社協組織内の各係や他機関と連携した。</p> <p>新規ケース；10件、継続支援ケース；12件、その他の相談12件 要請者数；17名、要請件数；189件、活動者数（のべ）；166名※ ※1回の活動に複数名のボランティアが関わる場合があります。</p> <p>②ボランティア活動・ボランティア要請に関する相談及び調整を行った。</p> <p>要請件数；82件、活動者数（のべ）；246名、 活動団体数（のべ）；62団体</p> <p>③ボランティアグループ、NPO・市民活動団体の運営や活動に関する相談に応じた。</p>
ボランティア登録	個人登録133名、グループ登録98団体（3,582名）
ボランティア保険	保険加入者3,979名（内、天災プラン加入者179名） ボランティア事故報告3件（活動中のケガ、往復途上の事故）

(2) 連携・ネットワーク

項 目	実 績
ボランティアグループ懇談会	<p>①情報交換や協議の場として月1回ボランティアグループ懇談会を開催した。</p> <p>②ボランティアグループから一般市民への啓発として、公開講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特殊詐欺について」講師；今井直美氏（市民相談・交流課相談員）11/30 ・「風水害から身を守るために」講師；蓑田圭二氏（防災士）1/25 <p>③ボランティアグループ懇談会の活動の支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌「ボランティアグループ一覧」の作成（6月・250部） <p>④VSネットの実施（登録グループを対象に台風の被災状況・安否確認）</p> <p>⑤第18回ボランティアまつりの開催（10月20日）来場者約700名</p> <p>⑥ボランティア交流会の開催（2月22日）参加者；38名</p> <p>第1部 みんなで歌おう（演奏協力 ウクレレふれあいサークル） 第2部 グループごとの交流</p>
ボランティアグループとの連携	<p>平成28年度に実施した講演会の参加者がグループ化をし、会の名称を「グッドフェローズ（よい仲間）」として月1回定例会を開催。子どもたちが安心して過ごせる場所を作るための意見交換や、イベントを企画、実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぐっどすぺーす」（居場所開放）の開催；夏休み（8月2日）、冬休み（12月27日）、出張（ふれあいスペースいっぷく）（1月14日）、（ふれあい工房）（2月21日） <p>※3月27日もふれあい工房で予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援として、夏休み期間中に外国籍の中学生男子への学習支援を実施
他社協との連携	<p>東京ボランティア・市民活動センターや市町村ボランティアセンターとの連携及び北多摩北部ブロック（武蔵野市、小平市、清瀬市、西東京市、東久留米市、東村山市）の連絡会へ出席し、共有課題の検討や情報交換、講座の開催を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区市町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会議（1月24日） ・北多摩北部ブロックボランティア担当者連絡会（11月26日） ・「あるある！？災害ボランティアセンターのおはなし」（1月25日） <p>講師：高山弘毅氏（榛東村社協職員・Nukiito 代表）</p>
その他	<p>市・市民協働課主催の「市民と行政の協働に関する検討委員会」に参加し市民ネットワークの構築や協働の仕組みづくりの検討を行った。</p> <p>（7月5日・11月18日・2月12日）</p>

（3）情報の収集・提供

項目	実績
情報の収集と提供	<ul style="list-style-type: none"> ①毎月1回ボランティアネットを発行した。 ②福祉だより（社協広報紙）でのボランティア情報の提供をした。 ③ホームページ、フェイスブック、ツイッター、ブログなどを活用して情報発信を行った。フェイスブックについては、子ども協力員ボラチルをレポーターにした取り組みや動画を取り入れるなどの工夫を行った。また、社協ホームページに子ども協力員ボラチルのコンテンツを新たに作成した。

（4）ボランティア活動推進委員会の開催

項目	実績
委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ①ボランティア活動推進委員会を開催した。 <p>開催日（6月11日、11月19日、2月12日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ②ボランティア活動推進委員会のほかに、次の小委員会を開催した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) ボランティア需給調整委員会 毎月第2・4木曜日 計12回開催 2) ボランティアネット編集委員会 毎月第1金曜日 計11回開催

（5）災害ボランティアセンターの運営

項目	実績
災害ボランティアセンター設置・運営訓練など	<ul style="list-style-type: none"> ①社協災害プロジェクト会議において、災害ボランティアセンターの運営や事業継続計画（BCP）、普通救命講習会、被災地災害ボランティアセンターのアンケート項目の検討などについての検討を行った。 <p>（6月5日、9月13日、11月8日、12月20日、1月29日、3月18日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ②東村山災害スタボラ会の定例会（毎月第4金曜日の午後）に参加し、情報共有や活動支援を行った。

	<p>③市の総合水防訓練に東村山災害スタボラ会と連携して参加した。 (5月24日)</p> <p>④東村山浄水場テロ対処訓練に参加した。(8月1日)</p> <p>⑤市の総合防災訓練に東村山災害スタボラ会と連携して参加した。 (9月21日)</p> <p>⑥社協職員や東村山災害スタボラ会メンバー等を対象に、普通救命講習会を実施した。(11月28日)</p> <p>⑦台風19号通過によって市内の被害が想定されたことから、職員の参集を行い、市内の情報収集・提供等を行った。</p> <p>⑧近隣地域の災害ボランティアグループの取り組みを視察・体験するため、聴覚者障害向け避難所運営ゲーム[HUG]訓練に参加した。 講師；西東京レスキューバード(1月12日)</p> <p>⑨ボランティアグループ懇談会主催による公開講座「風水害から身を守るために」講師；蓑田圭二氏(防災士)に参加した。(1月25日)※再掲</p> <p>⑩北北ブロック社協ボランティアセンター職員研修会「あるある！？災害ボランティアセンターのおはなし」講師：高山弘毅氏<small>(しんとうむら)</small>(榛東村社協職員・Nukiito 代表)に参加した。(1月25日)※再掲</p> <p>⑪小学校や自治会からの要請を受け、防災教育や出前講座をスタボラ会の協力を得て実施した。</p> <p>⑫「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」を、東村山災害スタボラ会、東村山青年会議所と協力して実施した。被害想定を水害による災害ボランティアセンター立ち上げ3日目とし、受付班とマッチング班の訓練を目的として実施した。 参加者；社協職員20名、東村山災害スタボラ会12名、東村山青年会議所3名、社協理事2名、ボランティアグループ懇談会3名</p>
東日本大震災被災地と市内避難者の支援	「北多摩北部ブロック社会福祉協議会避難者支援情報共有連絡会」に参加し、避難者支援に関わる情報を共有した。(7月17日、2月19日)
災害支援活動	<p>①大規模災害の発生により共同募金会で義援金の募集が行われた場合に、市内での募金活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年台風15号災害義援金(千葉県共同募金会へ) ・令和元年台風19号災害義援金(中央共同募金会へ) ・ボランティアまつり当日に寄せられた賛助金全額を令和元年台風19号災害義援金として中央共同募金会へ送った。 <p>②被災した栃木県佐野市へ応援職員を派遣した(11/4～8)</p>

5 福祉教育活動の推進

(1) 青少年へのボランティア・福祉教育の推進（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
福祉学習の相談 ・調整・支援	<p>福祉施設等の関係機関と連携を図り、福祉教育の推進を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇支援校数：19校（学年別に集計） ◇実施回数：70回（延べ回数。打ち合わせ含む）※相談回数は除く ◇主な支援内容：福祉学習（車いす・アイマスク・高齢者疑似体験・障害当事者による講話、防災関連の講話など）、講師派遣・調整、機器等貸出など ◇ボランティアグループ等の協力：福祉さんき会、さつき294、点字サークル虹の会、視覚障害者友の会、災害スタボラ会、車いす利用者、災害スタボラ会、地域包括支援センター ◇ゲストティーチャー交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・日時 3月26日（木）13：30～15：00 ※新型コロナウイルスの影響で中止
夏体験ボランティア事業	<p>福祉施設や地域活動団体と連携し、市内在住・在学の小学5年生から大学生までを対象としてボランティア体験を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇活動期間：7月22日（月）～8月31日（土） ◇参加：98名（小学生27名、中学生53名、高校15名、大学生3名） ◇受け入れ施設・団体数：52団体 ◇活動メニューへの参加者数（のべ）：321名（高齢者関係54名、障害者関係23名、児童関係244、その他28名） ◇説明会；6月27日（木）・28（金） 内容／活動紹介、活動する上で心がけること申込み；7月5（木）～6（土） 内容／活動申込み、ボランティア保険加入手続き ◇報告会；8月23日（金） 内容／グループ毎の体験内容の話合いと発表、感想文の提出、ボランティア登録（高校生以上）と子ども協力員（小・中学生）の呼びかけ
福祉の職場体験 &座談会 「おためしふくし塾」	<p>青少年に、福祉の仕事の魅力を発信することを目的として実施。福祉の「職場体験」と福祉の仕事をつまにした「座談会」をセットで行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇職場体験；8月26日（月）～8月29日（木） ◇座談会；8月30日（金） ◇参加；職場体験5名（高校生4名、大学生1名）／座談会14名（大学生・高校生・施設職員・ボランティアセンター職員、社協実習生） ◇協力；介護老人保健施設多摩すずらん、救護施設村山荘、多機能型事業所ひまわり、中部地域包括支援センター、ほんちょう保育園
子ども協力員の募集、立ち上げ	<p>夏体験ボランティア事業に参加した学生のうち、小・中学生を子ども協力員の対象として夏体験ボランティア報告会で参加を呼びかけ、8名（小学生1名、中学生7名）が子ども協力員としての活動をスタートした。</p>

	<p>◇はじめの一步の会；9月7日（土）</p> <p>子ども協力員の愛称について子ども達が話し合い「ボラチル」に決定した。</p> <p>◇活動への参加；ボランティアまつり、第5次地域福祉活動計画等の活動をPRするレポーターな、市民産業祭、熊野公園落ち葉掃き&焼いもイベント、福祉協力員感謝のつどい、ぐっどすぺーすのお手伝いなど</p>
関係団体等への支援	化成小学校・白十字ホーム里孫活動、四中ホリデーネットワークの活動を支援した。

（2）担い手の育成（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
ゆるボラ講座 ～障害者スポーツにふれながらボランティアを学ぼう～	<p>日時；令和元年6月8日（土）14：00～16：00</p> <p>会場；市民スポーツセンター レクリエーション室</p> <p>参加；20名</p> <p>内容；スルーネットピンポンの体験、視覚障害当事者のお話、ボランティア紹介</p> <p>講師；平賀さん、道口さん（サウンドテーブルテニスの大会メダリスト、スルーネットピンポンのグループに所属）</p>
ボランティア講座 「子どもたちのためにできることを考えよう」	<p>日時；令和2年1月23日（木）18：30～20：30</p> <p>会場；地域福祉活動室</p> <p>参加；26名</p> <p>内容；講話①「困り感のある子の支援について」、②「子どもたちを取り巻く環境について」、ボランティアの紹介・登録の案内</p> <p>講師；東村山市教育部 子ども・教育支援課 北條和典氏（特別支援教育担当 指導主事）、菅谷正史氏（子ども相談室係長 公認心理師）</p>
南部エリアにおける担い手養成	<p>第1層及び第2層生活支援Co.と連携し、南部エリアにおける担い手養成を目的としたイベント開催に向け、地域住民とともに企画・検討を行った。 (8/7、9/5、10/28、11/19、12/2、1/8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加団体向け説明会 2月18日（火）10：00～ ・マッチングイベント 3月8日（日）9：30～ <p>※新型コロナウイルスの影響で中止</p>

※自治会等の出前講座の相談に応じ、ボランティアの調整を行った。

東住自治会「災害時のトイレについて」

日時；2月2日（日）13：00～14：30

講師；東村山災害スタボラ会2名

6 高齢者生きがい事業

(1) 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

項目	実績									
いきいきサロン 萩山の運営	利用登録者数；52名（令和2年3月末現在）									
	①利用延人数									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計		
	男性	34	27	36	34	25	33	189		
	女性	198	178	193	207	156	198	1,130		
	合計	232	205	229	241	181	231	1,319		
	新規	0	0	0	0	0	0	0		
	退会	0	2	0	0	0	0	2		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	年度 合計	
	男性	33	37	30	33	26	0	159	348	
女性	199	211	154	184	168	0	916	2,046		
合計	232	248	184	217	194	0	1,075	2,394		
新規	1	0	0	0	0	0	1	1		
退会	0	0	0	0	0	0	0	2		
※令和2年2月26日午後より新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。中止期間中に軽体操資料やスタッフからのメッセージカードを郵送。										
②スタッフ月例ミーティング（月1回）										
利用者との状況や対応の申し送り、活動内容の検討										
③サロンバス研修										
日 時：5月24日（金）										
参加者：21名（利用者13名、スタッフ6名、職員2名）										
行先：昭和記念公園（防災館、極地研究所）										
憩いの家利用者 サービス事業	①季節のつどい									
	各憩いの家にて演芸大会説明会実施。 10/8（火）久米川、廻田 10/10（木）萩山、富士見									
	館名	開催日	内 容		参加者					
	久米川	12/3（火）	演芸大会		112名					
	富士見	12/5（木）	演芸大会		118名					
	廻 田	12/10（火）	演芸大会		92名					
	萩 山	12/12（木）	演芸大会		61名					
	②日常生活安心講座									
	いきいきサロン萩山活動日に合わせ、久米川病院健康セミナーチームによるミニ講座を実施。									
	（6/24 脂質異常症について、8/30 高血圧症について、1/29 免疫と栄養について）									

	③児童館との交流事業			
	館名	日	内 容	参加者
	萩 山	8/22 (木)	囲碁・将棋、ゲートボール等 (萩山児童クラブ)	69 名
	富士見	9/30 (月)	割り箸鉄砲等の昔遊び、トランプ、将棋等 (富士見育成室、児童館)	63 名
	廻 田	10/9(水)	昔遊び、工作、児童の出し物披露、みんなで歌おう等。	95 名
	久米川	11/25(月)	昔遊び、工作、児童の出し物披露、みんなで歌おう等。	64 名
	④生きがいサークルの支援 憩いの家の利用調整および講師派遣調整を行った。			
	⑤循環バス交流の日 (集いと交流の日) ・火曜日(久米川・廻田)、木曜日(萩山・富士見)の循環バス運行日を「集いと交流の日」としカラオケや軽体操など気軽に参加できるプログラムを実施した。 ・ボランティア交流会 (集いと交流の日ボランティアの交流会) 3/5 (木) 13:30～14:30 久米川憩いの家 3/12 (木) 11:30～12:30 富士見憩いの家 3/12 (木) 15:30～16:30 萩山憩いの家 3/13 (金) 13:30～14:30 廻田憩いの家 ※上記4日程は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
生きがいと健康づくり事業	高齢者生きがい講座～趣味・文化コース～ 「はじめてのサイレントドラム講座」と「はじめてのフォークギター講座」 期間：1月15日～3月16日 (全10回) 受講生：19名 (サイレントドラム8名、フォークギター11名) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月4日からの3回を残し中断。			

(2) 敬老啓発福祉事業

長寿を共に祝う会	<p>①関係者会議の開催 (第1回) 日時 ; 5/28(火)10:00～12:00 内容 ; 令和元年度 長寿を共に祝う会について (開催要領、スケジュール、参加記念品、交付金、招待状の確認、実施計画書、各町開催予定等)</p> <p>(第2回) 日時 ; 11/26(火)10:00～12:00 内容 ; 令和元年度の開催を振り返って～各町からの開催報告～ 次年度以降の開催に向けて</p> <p>②各町長寿を共に祝う会の実施 各町福祉協力員会が実施主体となり、参加した方々に楽しいひとときを過ごして頂くために、各町の特色を活かした式典・催事を企画、実施した。恩多町、多摩湖町、諏訪町、栄町については、福祉協力員による対象者への記</p>
----------	---

	念品配付とした。 ③「児童から高齢者への手紙」 小学生から米寿の方へ送る「児童から高齢者への手紙」事業を実施した。米寿を迎えた方に、市内小学校の児童によるお祝いの手紙とお祝いの品をお届けした。
--	--

◇長寿を共に祝う会の開催

町名	開催日時	開催場所	招待	参加	主な内容
本	9/7(土) 10:00~12:00	中央公民館	1,216	257	豊年太鼓と歌(ほんちょう保育園)、演奏(おやじバンド ほちきす)、みんなで歌いましょう
萩山	9/14(土) 10:00~12:00	萩山小学校 体育館	1,486	226	独唱とピアノ演奏(仁田氏、松嶋氏)、軽体操(竹口氏)、ソーラン節(萩山小児童)
富士見	9/14(土) 10:30~12:00 13:30~15:00	富士見公民館 ホール	1,207	223	箏曲演奏(午前;富士見小学校)、合唱と演奏(午後;南台小学校)、落語(安田氏)、よさこい踊り(てんしゃばフェスタ踊り子隊)、みんなで歌おう(福祉協力員)
野口	9/16(月・祝) 10:00~12:00	化成小学校 体育館	764	95	ハーモニカ演奏(アンサンブルサンバルネ)、箏曲演奏(北山小土曜ふれあい講座)、軽体操(福祉協力員)、祭囃子(野口囃子連の会)
美住	9/21(土) 10:30~12:00 13:30~15:00	富士見公民館 ホール	883	220	踊り(午前:第四保育園園児)、民謡(津軽よされ会柳澤社中)、合唱(午後:第七中学校合唱部)、ダンス(ミスミセブン)、引き語り・ハーモニカ(木村氏)
秋津	9/28(土) 10:00~12:00	秋津東小学校	1,273	214	吹奏楽演奏(第六中学校吹奏楽部)、歌とリコーダー演奏(秋津東小)、歌と軽体操(福祉協力員)、祭囃子(秋津町祭囃子保存会)
久米川	9/29(日) 10:00~11:40	久米川小学校	965	212	久米川囃子連による迎え囃子、歌と演奏(久米川幼稚園園児)、ミュージックベル(久米川小学校土曜ふれあいタイム)、合唱(第二中学校合唱部)、和太鼓(久米川小学校土曜ふれあいタイム)、みんなで元気アップ(福祉協力員)
青葉	9/29(日) 10:00~12:00	青葉小学校	1,004	305	お元気体操(野口氏)、南京玉すだれ(ふじみ玉すだれ一座)、フラダンス(ハウオリフラオハナ)、日本舞踊(江川社中)、みんなで歌おう(福祉協力員)
廻田	9/29(日) 10:30~12:00	廻田 公民館	455	84	ぽんたくんお出迎え、ハンドベル演奏(回田小土曜こども講座)、お遊戯と歌(むさしの認定こども園)、箏曲演奏(第四中学校)、手話ダンス(手話ダンス虹・オリーブ)、みんなで歌おう
合計			9,253	1,836	

◇記念品配付

町名	配付期間	対象者数	配付人数
恩多	9/10(火)～9/17(火)	1,127名	1,068名
栄	9/11(水)～9/18(水)	995名	922名
多摩湖	9/11(水)～9/30(月)	548名	525名
諏訪	9/6(金)～9/13(金)	576名	558名
合計		3,246名	3,073名

7 健康長寿のまちづくり推進室事業

◇多目的講座室利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市老連	29	15	10	10	14	16	21	21	10	9	10	-	165
高齢者団体	10	18	23	20	18	17	16	17	19	15	14	-	187
福祉団体 他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	1
市	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	2	-	6
計	39	33	34	30	33	33	39	39	31	26	26	-	359

※ 3月は新型コロナウイルスの影響で使用休止。

8 老人クラブ等助成事務及び育成相談事業

項目	実績													
補助金申請 援助	令和2年度東村山市老人クラブ補助金申請事務、及び令和元年度実績報告書を4月6日～10日の5日間で受け付けた。市老連事務局は、書類提出時点で軽微な誤りや書類不足等の点検を行い、社協と市健康増進課にて内容検査を実施した。4月20日～24日の単位クラブとの面談は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため電話でのヒヤリングとなった。													
老人クラブの育成・相談	補助金対象会員数は、2,156名で、前年度(2,309名)比較153名減であった。市外や重複入会も含む老人クラブ加入総数は、2,197名、昨年(2,360名)比較で163名減(入会172人、退会335人、退会内訳：転出18名、逝去43名、他207名、解散65名)。解散2クラブ。 ◇令和2年4月1日現在、老人クラブ数；37クラブ 会員数；2,156名													
町名	本町	久米川	秋津	青葉	恩多	萩山	栄	富士見	美住	廻田	多摩湖	諏訪	野口	
クラブ数	2	5	1	3	2	4	6	5	2	2	1	2	2	
会員数	57	328	88	200	89	189	383	210	75	120	114	166	137	

◇市老連活動実績

活動項目	主な活動	回数	人数
1、社会奉仕活動	総務部会活動 8 回	14	244
	産業まつり 2 回		
	友愛活動 4 回		
2、健康づくり活動	厚生部会活動 7 回	56	1,827
	健康体操教室 22 回		
	心の健康他講習会 2 回		
	レクダンス講習 15 回		
	ペタンク大会、ふれあい・80 歳の運動会 5 回		
	運動会打合せ、練習 2 回		
	輪投げ大会 3 回		
3、生きがいを高める活動	文化部会活動 20 回	82	4,444
	芸能文化祭 5 回		
	女性部会活動 26 回		
	広報部会活動 24 回		
	手芸教室 3 回		
	チャリティカラオケ 4 回		
4、その他の社会活動	都老人クラブ連合会行事他 14 回	82	1,340
	市老連会長会 14 回		
	役員会他 25 回		
	地区協議会活動 5 回		
	都、市関連行事・会議他 15 回		
	社協理事会ほか 3 回		
	監査・会計等事務 6 回		
5、その他	新年会、会員旅行等 4 回	4	166
合 計		66	4,332

◇いきいきプラザ 4 階の来訪者及び電話対応数

	①老人クラブ会員 (人)	②会員外高齢者 (人)	③職員他 (人)	④談話室利用 (人)	⑤電話外線 (本)	⑥電話内線 (本)	対応合計
年間計	1,342	268	440	1,348	1,347	601	5,346
月平均	112	22	37	112	112	50	446
日平均	6	1	2	6	6	3	22

・印刷機、コピー機の提供

Ⅱ 相談事業

1 総合相談事業（発展・強化計画関連事業）

7月より係を横断した「総合相談チーム」を編成し、市民からのあらゆる相談に対して必要に応じて福祉サービス等の情報を提供するとともに、相談内容により社協他事業や関係機関等に繋ぎ支援を行った。

①月別の電話相談、来所、連絡調整等の延べ件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0	1	2	6	16	4	10	13	10	5	4	9	80

②新規相談・対応方法、相談内容

・相談実数

新規相談者		33
新規相談の対応結果	継続相談	17
	初回相談のみ	16

・対応方法（延べ件数）

来所相談	18
電話相談	31
家庭訪問	6
電話訪問	9
ケース連絡	14
ケース引継ぎ	1
その他	1
合計	80

・相談内容（延べ件数）

1. 病気や健康、障害について	6
2. 住まいについて	11
3. 収入・生活費について	9
4. 家賃やローンの支払いについて	0
5. 税金や公共料金の支払い	5
6. 債務について	0
7. 仕事探し、就職について	2
8. 仕事上の不安やトラブル	0
9. 地域との関係について	6
10. 家族との関係について	9
11. 子育てについて	2
12. 介護について	2
13. ひきこもり・不登校について	0

14. DV・虐待について	3
15. 食べるものがない	0
16. その他	41
合計	96

- ・「初回相談のみ」は、「相談を受ける→情報提供した」という1往復のやりとりで終了したもの。情報提供等したのち、さらに相談等が続いたものを継続相談としている。
- ・対応方法としては電話と来所が多く、家庭訪問など相談員が出向く対応は少なかった。
- ・親子、兄弟姉妹、近隣住民等人間関係に起因する相談が多かった。

③チームミーティングの開催

令和元年7月～令和2年3月までに10回開催した。

- ・運営体制の検討（相談の視点、記録書式、日報、ケースカンファレンス 他）
- ・各回に、お互いの事業を知るため、チームメンバー系の事業説明を実施
- ・ミーティング以外にも、ケースカンファレンスや社内メールにてケース検討や情報共有をはかった。

2 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障害者もしくは高齢者のいる世帯の生活の安定と経済的自立を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行った。また、令和2年3月25日より新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金にお困りの方への緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を開始した。東社協受託事業。

(1) 貸付相談及び償還相談

①貸付・償還等相談件数（項目重複あり、来所・電話相談等、延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉費	3	3	5	10	42	38	17	13	22	5	12	8	178
教育支援資金	27	24	31	51	42	38	48	39	51	40	78	67	536
緊急小口資金	2	14	9	4	10	11	11	2	1	4	3	31	102
総合支援資金・ 離職者支援資金	2	0	0	1	2	0	3	0	5	0	3	7	23
不動産・ 要保護不動産 担保型貸付資金	4	9	2	24	43	16	25	24	9	20	5	12	193
コロナ特例貸付												48	48

②貸付実績報告（辞退含まず）※貸付決定 17 件 借受世帯実数 12 世帯

資金種類			貸付決定 件数	貸付決定金額	
生活 福祉 資金	福祉資金 ※	障害者用自動車の購入に必要な経費	0 件	0 円	
		住居の移転等に必要な経費	0 件	0 円	
		生活保護受給者の国民年金の任意加入により納める保険料の経費	1 件	145,780 円	
		生活保護受給世帯の生活必需品等の購入に必要な費用	1 件	67,000 円	
	緊急小口資金		1 件	100,000 円	
	教育支援 資金	教育支援費	7 件	11,477,000 円	
		就学支度費	6 件	1,522,000 円	
	総合支援 資金	生活 支援費	生活再建までの生活費用 (12ヶ月以内)	0 件	0 円
		住宅 入居費	敷金・礼金等住宅の賃貸契約を結ぶ為に 必要な費用	0 件	0 円
		一時生活 再建費	生活再建の為に一時的に必要な費用	0 件	0 円
	不動産 担保型 生活資金	不動産担保型生活資金		0 件	0 円
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金		1 件	8,190,000 円
臨時特例つなぎ資金		住居のない離職者が公的給付・貸付を 受けるまでの生活費	0 件	0 円	
コロナ特例貸付		新型コロナウイルス感染症の影響に よる休業等で一時的に必要な生活費 用	24 件	4,200,000 円	

※福祉資金・福祉費は貸付実績のある資金種類のみを掲載。

③債権管理

償還促進のため、東京都社会福祉協議会からの発行帳票を送付する際に電話訪問を適宜行い、償還状況を確認しながら救済制度の適用を図った。

④救済制度 計 4 件

貸付対象の世帯は様々な生活上の課題を抱えており、借受世帯の安定や自立促進のために、償還猶予や延滞利子免除の適用検討・手続きを行った。また、償還が見込めず適格要件を満たす世帯に対して、償還免除の検討を行った。

償還猶予	延滞利子免除	償還免除
2 件	0 件	4 件

⑤関係機関との連携強化

◇民生委員・児童委員協議会

合同及び地区定例会へ適宜参加し、事業周知をすすめるとともに、貸付世帯の情報共有を行った。また、民生委員による生活福祉資金借受世帯への支援状況を確認した。

支援記録票点検

日 時	場 所	点 検 者
令和元年 5 月 15 日（水） 14：00～16：00	社協 会議室	地区会長（5名）

◇連携会議

相談の調整をスムーズに図ることができるよう、生活福祉課、ほっとシティ東村山（自立相談支援機関）と相談支援体制や各種施策の状況・動向について意見交換を行った。

日にち	相手先	内容等
令和元年 6 月 5 日（水）	生活福祉課相談支援係 （母子相談）	・両制度変更点、担当体制について ・相談対応ケースの情報交換
令和元年 7 月 5 日（金）	生活福祉課自立相談係、 ほっとシティ東村山	・事業内容、担当体制について ・相談ケースの引継方法についての意見交換

⑥会議、研修

項 目	出席者数	日 時	場 所
平成 31 年度 生活福祉資金新任職員研修	2 名	4 月 18 日（木）、 24 日（水）、5 月 8 日（水）、13 日 （月）、20 日（月）、 6 月 4 日（火）、12 日（水） 10：00～17：00	飯田橋 セントラルプラザ 12 階会議室
生活福祉資金貸付事業説明会 「令和元年度事業実施計画と運用変更点等」	1 名	5 月 29 日（水） 13：30～16：30	飯田橋セントラルプ ラザ 12 階会議室
生活福祉資金担当職員 実務者研修会 （教育支援資金）	1 名	7 月 29 日（月） 13：30～17：00	飯田橋セントラルプ ラザ 12 階会議室
生活福祉資金担当職員 関連制度研修会 （生活保護について）	1 名	8 月 28 日（水） 10：00～12：00	研究社英語センター 大会議室
緊急小口資金 運用変更説明会	1 名	8 月 28 日（水） 13：00～14：30	研究社英語センター 大会議室
教育支援資金 運用変更説明会	1 名	9 月 25 日（水） 13：30～16：45	研究者英語センター 大会議室
相談支援研修（相談支援実践編）	1 名	10 月 28 日（月） 10：00～17：00	東京都左官工業協同 組合 会議室
生活福祉資金業務研究会 意見交換会 「償還業務のポイントとノウハウの共有」	1 名	11 月 15 日（金） 14：00～17：00	リロの会議室 A
相談支援研修（地域生活支援編）	1 名	11 月 25 日（月） 10：00～16：30	飯田橋セントラルプ ラザ 10 階会議室
令和元年度 生活福祉資金貸付事業連絡会 （自立相談支援事業）	1 名	12 月 3 日（火） 14：00～16：30	飯田橋レインボービ ル 中会議室
生活福祉資金テーマ別研修「償還について」	1 名	12 月 25 日（水） 10：00～17：00	飯田橋セントラルプ ラザ 12 階会議室

東村山市生活困窮者ネットワーク会議	2名	2月14日(金) 14:00～16:00	いきいきプラザ3階 マルチメディアホール
-------------------	----	-------------------------	-------------------------

3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

母子父子家庭高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学、資格取得を目指すひとり親家庭の親を対象とし、入学準備金・就職準備金を貸し付けた。地区社協は申込書・借用書の收受、送付業務を行った。東社協受託事業。

相談件数	入学準備金	就職準備金
1件	0件	1件

4 応急小口資金貸付事業

低所得世帯が不測の事態により、緊急かつ一時的に生活資金が必要になった際に貸付を行った。また、ほっとシティ東村山による自立相談支援利用者に関しては柔軟に対応した。未償還者に対しては7月と12月に督促状を発行・郵送し、反応のない世帯には3月に督促訪問を行った。社協独自事業。

①貸付・償還件数及び金額

(件数及び金額は延べの数字)

貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
72件	998,865円	72件	726,565円

※前年度以前の貸出金の償還も含む。

②相談経路

生活福祉課	30件
ほっとシティ	17件
以前貸付利用	11件
インターネット	4件
基幹相談支援センター	2件
包括	1件
市役所(生活福祉課以外)	1件
他の資金の相談	1件
その他	5件
合計	72件

③世帯状況

生活保護申請中	12件
生活保護受給中	25件
就労中	22件
年金受給中	0件
無職	5件
その他	8件
合計	72件

④運営委員会

出席：運営委員 5名(社協理事)

日程	場所	内容
令和元年7月30日(火)	地域福祉活動室	平成30年度事業報告、償還免除について、意見・情報交換等

5 中部地域包括支援センター（基幹業務）

（1）地域型地域包括支援センターの統括

項 目	実 績
各地域型包括支援センターの統括	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア体制を構築していくうえで、その中心となる地域包括支援センターの相談員と介護支援専門員が正しく「自立支援・介護予防」について理解し、利用者や事業者に働きかけることができるように、市所管と協力し「自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議」を開催した。事例を多面的に検討し、自分らしい生活を継続できるための支援となるように、会議開催前に司会や助言担当者と打ち合わせを行い、会議後には事例検討で表出した普遍的な地域課題について共有した。 (会議開催9回、17事例) ・地域ケア会議が本人の望む生活を実現するための具体的な提案や社会資源の開発に繋がるように、相談員研修を実施した。 講義「自立支援につながる社会参加の考え方について」(11/20) 演習「対象者の状態に応じた社会参加をどう捉えるか」(1/24) ・地域ケア会議で抽出された課題を分類し、次年度、課題解決に向けて検討していく準備を行った。 ・「虐待対応・関係機関連携強化会議」が中心となり、相談員研修を行った。 「虐待対応における在宅措置の実態について」(6/26) 「事例検討・生活困窮者の実態、制度説明」(2/26)
市所管・地域型地域包括支援センターとの会議体の企画・運営	<p>定例協議 11回 実務リーダー会議 11回 認知症施策会議 11回 虐待対応・関係機関連携強化会議 5回 在宅療養支援窓口会議 5回</p>
生活支援コーディネーターの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・2層生活支援コーディネーターが生活支援整備体制事業を実施していくための支援について、1層生活支援コーディネーターや市所管と定期的に協議し、課題や方向性の共有を行った。 11回 ・基幹型地域包括支援センター相談員が各地域型地域包括支援センターを担当し、社会福祉協議会まちづくり支援係との会議や地域ケア会議などに参加しながら、各地域型地域包括の状況を把握するとともに、必要な支援を行った。 <p>→各地域型地域包括支援センターの会議等に参加していくことで、それぞれの状況や目指しているところなどを把握することができ、地域型包括の平準化に働きかけることができた。</p>

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

項目	実績
「ケアプラン点検」の実施支援、自立支援型地域ケア会議の開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都で推奨される「リ・アセスメントシート」を用いたケアプラン点検を市所管と共同で実施した。3年間で市内全介護支援専門員に実施していく予定である。(6月:13チーム、10月:16チーム、2月:16チーム実施) ・各地域型地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員と研修や実施後のふりかえりを重ね、ケアプラン点検の方法や実施時の留意点の確認等を行った。(7/18、11/21)
介護保険事業者連絡会の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○居宅介護支援事業者連絡会(会員事業所53カ所) 総会 4月12日 役員会 11回 研修会 15回 ・主任介護支援専門員部会(ケアプラン点検担当・研修企画担当・制度業務担当)の立ち上げ、運営支援(総会、打ち合わせなど17回) ○訪問介護事業者連絡会(会員事業所25カ所) 総会 4月16日 サービス提供責任者部会 7回 研修会 3回 ○通所サービス事業者連絡会(会員事業所46カ所) 総会 4月17日 役員会 4回 連絡会 5回 研修 1回
介護保険連絡会の合同役員会の開催	<p>東村山市全体の地域包括ケア体制構築を推進するために、事業所同士の横のつながりを作り協力して活動できるよう、昨年度、合同役員会から「東村山市介護事業者等ネットワーク」が立ち上がり、事務局として運営を支援した。</p> <p>役員会 6回</p> <p>研修会 7月25日 中央公民館「自立支援を理解する—介護予防が目指すもの—」1月16日 市民センター「自立支援を理解する part 2」</p>

(3) 専門的な支援の展開

項目	実績
在宅医療・介護連携の体制構築支援	<ul style="list-style-type: none"> ○多職種連携研修会 (3回) ・在宅における薬剤師の役割(112名) ・在宅における歯科医師の役割-見落としがちな口腔の悩みと対応法-(93名) ・入退院時連携について(88名) 以上3つのテーマで実施した。 講義とグループワークを通し、多職種の連携を促進した。 ○CM、MSW、PSW、退院支援Ns、包括交流会 (1回) (71名) 久米川病院との共催にて実施。在宅療養支援窓口のPR、地域包括ケア病棟の役割、連携事例の紹介等の講義を踏まえ、グループワークを実施。医療と在宅側の連携を促進した。 ○他市への視察 (1回) ○会議への参加 ・東村山市医療介護連携推進委員会 (2回) ・在宅療養支援窓口会議 (5回)

認知症のある方に対する支援についての相談	○相談件数 実人数 20名／延人数 37名 ○会議への参加・北多摩北部保健医療圏認知症支援コーディネーター等会議 ・東村山市医療・介護連携推進委員会 ・初期集中支援チーム会議（6回）
----------------------	--

6 中部地域包括支援センター（地域型；本町・久米川町・恩多町担当）

（1）総合相談支援

項目	実績																																			
相談	①相談件数 (件)																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>電話</th> <th>訪問</th> <th>来所</th> <th>メール・ファックス</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>8462</td> <td>4583</td> <td>500</td> <td>294</td> <td>160</td> <td>13999</td> </tr> <tr> <td>(%)</td> <td>60.4</td> <td>32.8</td> <td>3.6</td> <td>2.1</td> <td>1.1</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>		電話	訪問	来所	メール・ファックス	その他	合計	回数	8462	4583	500	294	160	13999	(%)	60.4	32.8	3.6	2.1	1.1	100.0														
		電話	訪問	来所	メール・ファックス	その他	合計																													
	回数	8462	4583	500	294	160	13999																													
(%)	60.4	32.8	3.6	2.1	1.1	100.0																														
②相談内容																																				
<p>相談内容では、介護保険利用および認定申請に関する相談が全体の約半数を占めている。</p> <table border="1"> <caption>相談内容の件数 (推定)</caption> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>介護保険申請</td><td>3300</td></tr> <tr><td>サービス改善要望</td><td>100</td></tr> <tr><td>サービス利用モニタリング</td><td>1000</td></tr> <tr><td>施設入所</td><td>200</td></tr> <tr><td>保健医療</td><td>600</td></tr> <tr><td>経済問題</td><td>100</td></tr> <tr><td>配食</td><td>100</td></tr> <tr><td>経過的支援</td><td>800</td></tr> <tr><td>介護者への支援</td><td>100</td></tr> <tr><td>CM支援</td><td>200</td></tr> <tr><td>虐待・権利擁護</td><td>300</td></tr> <tr><td>成年後見・地権</td><td>100</td></tr> <tr><td>家族への支援</td><td>200</td></tr> <tr><td>安否確認見守り</td><td>100</td></tr> <tr><td>認知症の相談</td><td>300</td></tr> <tr><td>その他・総合相談</td><td>500</td></tr> <tr><td>住宅改修福祉用具</td><td>400</td></tr> </tbody> </table>	相談内容	件数	介護保険申請	3300	サービス改善要望	100	サービス利用モニタリング	1000	施設入所	200	保健医療	600	経済問題	100	配食	100	経過的支援	800	介護者への支援	100	CM支援	200	虐待・権利擁護	300	成年後見・地権	100	家族への支援	200	安否確認見守り	100	認知症の相談	300	その他・総合相談	500	住宅改修福祉用具	400
相談内容	件数																																			
介護保険申請	3300																																			
サービス改善要望	100																																			
サービス利用モニタリング	1000																																			
施設入所	200																																			
保健医療	600																																			
経済問題	100																																			
配食	100																																			
経過的支援	800																																			
介護者への支援	100																																			
CM支援	200																																			
虐待・権利擁護	300																																			
成年後見・地権	100																																			
家族への支援	200																																			
安否確認見守り	100																																			
認知症の相談	300																																			
その他・総合相談	500																																			
住宅改修福祉用具	400																																			

予防給付	<p>担当圏域内で、介護保険サービスの利用を希望する要支援認定者及び事業対象者に対して、介護予防ケアマネジメントを実施した。</p> <p>また、利用者の同意が得られ事業所も受入が可能なケースについては、居宅介護支援事業所へ全体の 68.3%を委託した。</p> <p>介護予防ケアマネジメント件数 (件)</p>						
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	件数	456	461	468	477	475	482
	うち委託	315	320	330	333	334	339
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	485	476	499	497	515	501	5,792
	330	327	333	337	324	335	3,957
広報紙の発行	<p>広報紙を発行、地域の高齢者及び関係者・関係団体(自治会・福祉協力店・民生委員・高齢者サロン・福祉団体など)に配布した。</p>						
	号数		内容				
	27号 秋発行		特集； 包括支援センターの周知				

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

項目	実績						
ケアプラン点検	<p>① 担当圏域の介護支援専門員が、適切なアセスメントに基づき、自立支援に資するケアプランを作成するために、リ・アセスメントシートを使用して、圏域の主任介護支援専門員と共同でケアプラン点検を行った。今年度上半期は6事業所に対し、18回実施した。また、ケアプラン点検を行うにあたって、担当圏域の主任介護支援専門員と打ち合わせを行った。</p> <p>② ケアプラン点検をより適切に行えるように、居宅事業者連絡会による研修会や、主任ケアマネジャー部会におけるケアプラン点検実施後の振り返りへの参加を行った。</p>						
地域ケア会議の開催	<p>地域課題の抽出・共有及び関係機関同士の連携促進を目的に地域ケア会議を開催した。地域の介護支援専門員が認知症の利用者への支援に困難を感じている状況があったため、認知症のケースに関する個別地域ケア会議や多職種連携をはかるためのケア会議を行った。また、他圏域とも共通するテーマについては、地域ケア会議を共催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月31日</td> <td>在宅で亡くなる時に備えること</td> </tr> <tr> <td>12月3日</td> <td>高齢者虐待の防止について</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、東村山市が行う自立支援型地域ケア会議に事例の提供及び専門職としての参加を行った。</p>	月 日	テーマ	10月31日	在宅で亡くなる時に備えること	12月3日	高齢者虐待の防止について
月 日	テーマ						
10月31日	在宅で亡くなる時に備えること						
12月3日	高齢者虐待の防止について						

介護支援専門員への支援	<p>① 地域の介護支援専門員からの相談に応じ、個別相談、事例検討会の開催等を行った。</p> <p>② 東村山市居宅介護支援事業者連絡会に主任介護支援専門員として参加し、介護支援専門員への支援を行った。</p>
-------------	--

(3) 地域ネットワーク構築（発展・強化計画関連事業）

項目	実績		
認知症サポーター養成講座の開催	<p>圏域の市民を対象に認知症サポーターフォローアップ講座を開催し、認知症の理解の促進、啓発に努めた。2回連続講座として、体験型の声掛け訓練と、専門家による対応方法の講義を実施。いずれもグループワークによる事例検討を通し、我がこととして考え、地域の見守り活動に活かしていただくことを目指した。</p>		
	月日	内容	会場
	10月18日	認知症サポーターフォローアップ講座	市民センター
	10月24日	認知症サポーターフォローアップ講座	ひがしむらやま翔裕園
生活支援コーディネーターの活動	<p>第2層生活支援コーディネーターとして、以下のような活動を行った。</p> <p>今年度は、市の共通目標として掲げられた「各地域住民の生活実態とニーズの把握」、「生活支援サービスの創出」を目的とした取り組みを行った。その他、地域資源の状況の把握とそれらの見える化、地域課題を住民や関連団体等と共有し解決に向けた仕組み作りを進めるため、多様な主体への協力依頼などの働きかけや関係者のネットワーク化を支援・推進した。また、これらの取り組みのため必要に応じて様々な会議体等を活用し、第2層協議体として地域住民や関係者と話し合いを行った。具体的な主な活動は、次の通りである。</p> <p>① 協議体の開催、地域資源の開発・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんにゃくサロン <p>担当地域部会等で集約した意見の中から本町の中でも集いの場のないエリアが課題として上がり、またそのエリアで拠点となりそうな空き店舗の情報もあったため、関係者と打ち合わせを行い居場所立ち上げの支援を行った。現在は、空き店舗を活用し月2回まちの居場所としてサロンを開催している。</p> ・ 自宅開放型カフェ <p>元気アップマップ発行後、自宅のスペースを活用したカフェをやってみたいという問い合わせがあり、近隣のサロンや自治会への周知、広報等の立ち上げ支援を行った。</p> ・ 本町都営27号棟自治会 <p>この自治会では月に1回、自治会員の交流を目的とした茶話会「憩いの場」を開催している。この会を活用し、自治会長及び会の参加者とともに「安心した老後の生活」をテーマに話し合いを行い、全自治会員を対象とした日常生活上の困りごとについてのアンケート調査を実施した。その後、結果の報告を書面にて自治会回覧するとともに別途報告会を開催し、まずは分別済みのごみ出し支援に限定した助け合いの仕組み作りについての検討を行った。</p> 		

	<p>② 地域の見守りネットワークの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町だいじょうぶだぁネット <p>まちづくり支援係と連携して、本町高齢者の見守りネットワーク「本町だいじょうぶだぁネット」の運営支援を行った。運営委員会を7回開催し、研修交流会・報告会を実施、広く住民に見守りを周知できるように地域懇談会と共催した。また、福祉用具展示・体験会の実施支援や、本町介護予防大作戦への協力等ネットワーク構築を推進した。</p> <p>③ 活動の連携支援</p> <p>「2019 介護予防大作戦 in 東村山」において、担当圏域の地区推進委員会に委員として12回の会議及び地域開催3回に出席した。</p> <p>④ まちづくり支援係との連携会議を開催し、圏域の情報交換や地域課題の検討を行った。また、法人運営係・まちづくり支援係と地域懇談会を共催し、地域の方々と地域課題の抽出や課題解決に向けた働きかけを行った。</p>																																	
地域活動	<p>地域包括支援センターのPR・高齢者福祉の理解等を図るため、関係機関等からの依頼に応じて広報啓発活動やミニ講座を実施するとともに、地域のサロン活動等に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動等の参加（包括の紹介、広報誌の配付等） 64回 ・ミニ講座、他 <table border="1" data-bbox="400 1014 1469 1704"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>対象</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月26日</td> <td>本町都営27号棟 自治会 憩の場</td> <td>「住み慣れた地域で生活するために」 (包括の役割と総合事業)</td> </tr> <tr> <td>6月10日</td> <td>民生委員高齢者部会</td> <td>「生活支援コーディネーターの役割と 集いの場づくりについて」</td> </tr> <tr> <td>7月23日</td> <td>理美容協会</td> <td>「熱中症予防について」</td> </tr> <tr> <td>7月23日</td> <td>本町 健康茶話会</td> <td>「フレイルを予防しよう」</td> </tr> <tr> <td>7月31日</td> <td>本町たちばな会</td> <td>「包括について」、元気アップ体操</td> </tr> <tr> <td>9月 3日</td> <td>本町たちばな会</td> <td>元気アップ体操</td> </tr> <tr> <td>9月27日</td> <td>本町都営27号棟自 治会 憩の場</td> <td>「安心した老後の生活について」 (生活支援について)</td> </tr> <tr> <td>9月29日</td> <td>本町クラブ</td> <td>健康講話「フレイルについて」</td> </tr> <tr> <td>11月17日</td> <td>つくし自治会</td> <td>「包括支援センターと認知症について」</td> </tr> <tr> <td>1月25日</td> <td>アティブ ライフ パーティー</td> <td>脳トレ体操</td> </tr> </tbody> </table>	月日	対象	内容	4月26日	本町都営27号棟 自治会 憩の場	「住み慣れた地域で生活するために」 (包括の役割と総合事業)	6月10日	民生委員高齢者部会	「生活支援コーディネーターの役割と 集いの場づくりについて」	7月23日	理美容協会	「熱中症予防について」	7月23日	本町 健康茶話会	「フレイルを予防しよう」	7月31日	本町たちばな会	「包括について」、元気アップ体操	9月 3日	本町たちばな会	元気アップ体操	9月27日	本町都営27号棟自 治会 憩の場	「安心した老後の生活について」 (生活支援について)	9月29日	本町クラブ	健康講話「フレイルについて」	11月17日	つくし自治会	「包括支援センターと認知症について」	1月25日	アティブ ライフ パーティー	脳トレ体操
月日	対象	内容																																
4月26日	本町都営27号棟 自治会 憩の場	「住み慣れた地域で生活するために」 (包括の役割と総合事業)																																
6月10日	民生委員高齢者部会	「生活支援コーディネーターの役割と 集いの場づくりについて」																																
7月23日	理美容協会	「熱中症予防について」																																
7月23日	本町 健康茶話会	「フレイルを予防しよう」																																
7月31日	本町たちばな会	「包括について」、元気アップ体操																																
9月 3日	本町たちばな会	元気アップ体操																																
9月27日	本町都営27号棟自 治会 憩の場	「安心した老後の生活について」 (生活支援について)																																
9月29日	本町クラブ	健康講話「フレイルについて」																																
11月17日	つくし自治会	「包括支援センターと認知症について」																																
1月25日	アティブ ライフ パーティー	脳トレ体操																																
諸会議等への参加	<p>① 地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護・認知症高齢者グループホーム運営推進会議に計7回参加した。</p> <p>② 成年後見制度推進機関初期相談窓口ネットワーク会議</p>																																	
実習受入	<p>以下の実習を受け入れた。</p> <p>大妻女子大学 1名</p> <p>国立看護大学校：計8日間 6名</p> <p>国立療養所多磨全生園附属看護学校：計4日間 2名</p>																																	

7 東村山市基幹相談支援センター

従来の指定一般相談支援事業、障害者相談支援事業に加え、今年度より基幹相談支援センター事業を新たに受託し、事業を行った。

基幹相談支援センターとして、特定相談支援事業所等関係機関からの相談を受け、カンファレンスの設定・参加、ケース活動の支援、研修会の開催等を行った。

また、東村山市障害者自立支援協議会の事務局として各種会議の運営にあたったほか、市内外の病院や施設等から依頼を受け、ヘルプカードや地域移行などの情報提供・啓発活動を行った。

(1) 基幹相談支援センター（発展・強化計画関連事業）

①東村山市障害者自立支援協議会の運営

- ・定例会の開催

回	月 日	内 容
1	5月16日(木) 14:00~16:00	令和元年度活動テーマ、専門部会報告、研修会の実施について、福祉人材確保の取り組みについて
2	7月18日(木) 9:00~10:00	児童発達支援センターに関するワーキンググループの設置について
3	10月10日(木) 14:00~16:30	研修会の開催、人材確保を目的とした市報記事の作成、専門部会報告等
4	令和2年 2月25日(火) 14:00~16:30	研修会報告、令和2年度活動テーマ、専門部会報告、児童発達支援センターに関するワーキンググループ報告等

- ・相談支援部会の開催（毎月第3木曜10:00~12:00）

回	月 日	内 容
1	4月18日	・年間予定の検討
2	5月16日	・サービス等利用計画作成のルール
3	6月20日	・「日頃の業務を通じて感じた課題やその解決策について」
4	7月18日	・「日頃の業務を通じて感じた課題やその解決策について」②
5	8月29日	・相談支援部会と就労支援部会の交流
6	9月19日	・障害児支援利用計画作成についての情報交換
7	10月17日	・障害児通所支援事業所等との意見交換
8	11月21日	・精神科病院相談員との連携
9	12月19日	・ケアマネージャーとの交流 (障害から介護保険への移行についての研修会)
10	1月16日	・相談支援部会研修会① 「相談支援のあり方と活用できる給付」 講師：岡部正文氏 (ソラティオ代表理事／日本相談支援専門員協会理事)

11	2月20日	・相談支援部会研修会② 「事例検討」 講師：岡部正文氏 (ソラティオ代表理事／日本相談支援専門員協会理事)
12	3月19日	・来年度の取り組みテーマについて意見交換 ※新型コロナウイルスの影響のため書面開催

・就労支援部会の開催

回	月 日	内 容
1	4月～5月	・就労支援部会アンケート送付、集計 「福祉施設から一般就労への移行に向けた取り組み」 (就労継続支援B型：20カ所、生活介護：3カ所)
2	6月27日(木) 15:00～17:00	・アンケート集計結果にもとづき検討
3	7月18日(木) 15:00～17:00	・就労継続支援B型事業所ヒアリング① 精神障害者を主たる対象とした事業所との意見交換
4	8月29日(木) 10:00～12:00	・相談支援部会と就労支援部会の交流
5	9月30日(月) 15:00～17:00	・就労継続支援B型事業所ヒアリング② 身体・知的障害者を主たる対象とした事業所との意見交換
6	11月25日(月) 15:00～17:00	・アンケート調査やヒアリングの結果を踏まえ、市内B型事業所の現状について意見交換
7	2月3日(月) 15:00～17:00	・次年度の活動テーマについて検討 ・次年度の部会構成についての意見

・児童発達支援センターに関するワーキンググループ

回	月 日	目 的 及 び 内 容
1	8月28日(水) 10:00～12:00	・児童発達支援センターの概要 ・本市の障害児通所支援の現状 ・障害者自立支援協議会での検討経過等
2	9月25日(水) 10:00～12:00	・子育て支援課、子ども相談室の業務説明 ・本市の障害児通所支援における地域課題の抽出・意見交換
3	10月30日(水) 10:00～12:00	・子ども育成課の業務説明 ・児童発達支援サービス利用までの関係機関の役割の確認 ・事例の検討
4	11月27日(水) 10:00～12:00	・児童発達支援センターのあり方の検討

5	令和2年 1月15日(水) 10:00~12:00	・ワーキンググループ報告書(案)の作成
6	2月12日(水) 15:00~17:00	・ワーキンググループ報告書の作成

・自立支援協議会研修会の開催

日時：令和2年2月5日(水) 18:00~20:30

場所：社会福祉協議会 地域福祉活動室

内容：障害者の多様な働き方とその支援 ～企業と福祉の垣根を超えるために必要な実践

講師：上村 勇夫氏(日本社会事業大学講師)

参加者：51名

・その他

運営会議：5月7日、7月16日、9月13日、12月27日、2月10日

部会間交流会：8月29日(木) 各部会の活動報告、障害者の就労について意見交換

市報記事の作成：市内6事業所へ取材を行い、記事を作成した。

相談支援事業所一覧更新

4市相談部会合同研修：10月31日(木)「道草」上映会、地域生活について意見交換

②指定特定相談支援事業所等の支援

指定特定相談支援事業所が担当しているケースカンファレンスに参加・助言・ケース支援等を行った。

・カンファレンス設定、参加等：24件

・面談同席：3件

・訪問、同行支援：2件

・サービス利用支援：5件

・緊急対応：1件

③人材育成研修

10月24日(木) 18:00~19:30	人材育成研修① 「援護の実施責任について」
11月14日(木) 18:00~20:00	人材育成研修② 「障害者虐待防止法について」
1月16日(木) 10:00~12:00	人材育成研修③「相談支援のあり方と、活用できる給付」 岡部正文氏 (一般社団法人ソラティオ代表理事/日本相談支援専門員協会理事) ※(再掲)相談支援部会にて実施
2月20日(木) 10:00~12:00	人材育成研修④「事例検討」 岡部正文氏 (一般社団法人ソラティオ代表理事/日本相談支援専門員協会理事) ※(再掲)相談支援部会にて実施

④虐待対応

通報にもとづき、市とともに事業所等へ訪問調査を行った。

計 3 件

⑤地域の関係機関等への支援

10 件

- ・多摩あおば病院デイケアプログラム、やさか記念病院かがやき会、山鳩訓練室「くるる」
- ・精神保健福祉ケア検討会、東村山福祉ネットワーク、特別支援学校福祉課訪問
- ・久米川町介護予防大作戦、見守り団体交流会、東京都自閉症協会会報誌「プリズム」
- ・地域福祉権利擁護事業生活支援員業務連絡会

(2) 指定一般相談支援・委託相談支援事業

相談支援を利用している障害者等の人数

	実人員	身体	重身	知的	精神	発達	高次脳	その他
障害者	262	30	0	117	82	4	3	26
障害児	5	1	0	4	0	0	0	0
計	267	31	0	121	82	4	3	26

支援方法

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援 会議	関係機関	その他	計
件数	711	722	796	2616	67	1362	65	6339

支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	1174	325	1046	770	15	280	472	2040	233
	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計					
件数	164	15	120	6654					

地域相談支援契約者数

- ・地域移行支援：2 件
- ・地域定着支援：2 件

(3) 障害者の余暇・交流活動の支援

①日曜くらぶ

主に知的障害や身体障害のある障害者を対象に、余暇活動支援を目的として実施。

登録者：31名

日時	主な内容	場所	参加者	職員他
5月19日 10:20～12:30	ボウリング	久米川ボウル	15名	4名
7月21日 12:30～15:15	カラオケ	ビッグエコー	14名	4名
9月29日 9:30～12:30	ボッチャ	社協 地域福祉活動室	15名	5名
12月15日 11:30～14:30	忘年会&カラオケ	ビッグエコー	12名	4名
3月15日	※新型コロナウイルス感染防止のため、中止とした。 (予定していたプログラム：西武ドームで野球観戦)			

②「おしゃべり会」(毎月第2月曜 10:00～12:00/るーと活動室)

身体障害や難病を抱える方を対象に、日常生活課題等の意見や情報交換、交流の場を提供。

・実施日(11回)；4/8、5/13、6/10、7/8、8/5、9/9、10/7、11/11、12/9、1/20、2/10

※3月は新型コロナウイルス感染防止のため、中止とした。

・参加者；39名(延べ)

(4) 関係機関とのネットワーク活動

①居宅介護事業者交流会(隔月第三金曜日18:30～)

月日	内容	担当事業所
4月19日	「生活と家事について」	白光園
6月21日	虐待防止について	ひだまり
8月17日	倫理と法令について	市障害支援課
10月18日	「居宅介護計画」様式の素案作り	サンケアネット
12月20日	「居宅介護事業者と特定相談事業所の交流会」	るーと
2月21日	開催：テーマ「居宅介護計画」様式の素案作り②	サンケアネット
3月13日	※新型コロナウイルス感染予防のため中止 予定：テーマ「年度まとめ・来年度の予定」	

②各種会議への参加

東村山市障害者福祉計画推進部会、高次脳機能障害者支援促進事業連絡会議、東村山市自殺対策推進協議会、安否確認緊急対応連絡協議会、成年後見制度初期窓口ネットワーク会議、障害者虐待防止法区市町村連絡会、TOSCA 主催小規模地域連携会議、地域生活移行支援会議、圏域別会議、清瀬特別支援学校学校運営連絡協議会、精神保健福祉ケア検討会、東村山福祉ネットワーク、都内基幹相談支援センター連絡会、北北ブロック主任相談支援専門員・基幹相談支援センター集まり、逸見病院地域連携協議会等

(5) 情報提供・広報・啓発活動

- ・パンフレット作製、市報記事作成等

8 福祉サービス総合支援事業（地域福祉権利擁護事業含む）

市内に在住する要援護者が福祉サービスを利用して、安心して地域で暮らしていけるように、福祉サービスに関する利用相談、成年後見制度の利用相談、福祉サービスの利用に際しての苦情対応、判断能力が不十分な方々の権利擁護相談等の支援を総合的・一体的に提供する窓口を設置し、地域福祉権利擁護事業と一体的に運営した。

(1) 利用者サポート

①福祉サービスの利用に際しての苦情対応（介護保険制度を除く）：0件

②判断能力の不十分な方々の権利擁護相談（新規）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	1	4	4	0	3	3	1	3	3	2	5	29

③成年後見制度の利用相談 ⇒成年後見制度推進事業相談実績を参照

④その他福祉サービス利用に関する専門的な相談 0件

(2) 福祉サービス利用援助事業

①地域福祉権利擁護事業

認知症の高齢者・知的障害者・精神障害者等の判断能力が不十分な方々に対し、地域で自立した生活を維持できるよう支援した（福祉サービス利用援助サービス、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービス）。

ア) 契約者数（令和2年3月末現在）

※（ ）内は前年度数値

種別	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	不明 その他	合計
契約者	46 (48)	20 (20)	18 (18)	7 (7)	91 (93)
うち生活保護 受給者	14	9	8	3	34

イ) 新規契約者数

種別	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	不明 その他	合計
契約者	12	2	2	1	17

ウ) 終了・解約者数

理由	死亡	施設入所 長期入院	判断能力低下 (内、後見人等へ引継)	本人自立	その他	合計
契約者	5	7	5 (5)	2	0	19

エ)相談支援件数（未契約支援も含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問合せ (制度・事業について)	1	4	6	2	2	3	2	1	3	1	6	3	34
初回利用相談	2	4	4	2	4	3	2	5	4	2	5	5	42
継続相談 支援	341	316	375	344	336	329	355	334	345	361	302	388	4126
合計	344	324	385	348	342	335	359	340	352	364	313	396	4202

②対象拡大事業

地域福祉権利擁護事業の対象を、判断能力を有する要支援・要介護高齢者並びに身体障害者等にも拡大し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類預かりなどの援助を行い、地域で自立した生活が送れるよう支援した。

ア)契約者数（令和2年3月末現在）

※（ ）内は前年度数値

認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	身体 障害者	不明 その他	合計
1	0	0	0	0	1
(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)

イ)相談支援件数（未契約支援も含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問合せ (制度・事業について)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
初回利用相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
継続相談 支援	2	2	2	0	2	1	0	0	0	1	0	2	12
合計	3	2	2	0	2	1	0	0	1	1	0	2	14

(3) 苦情対応・専門相談の実施

弁護士による専門相談を実施。利用者支援の各相談窓口から引き継いだ苦情及び権利擁護相談に関して専門的見地からの助言等を行っている。

【相談日時】毎月第4金曜日（14時～16時 30分×4コマ）

【場所】社会福祉協議会内相談室

【専門相談員】弁護士1名（多摩パブリック法律事務所より派遣）

◆相談件数

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	2	1	1	2	0	1	0	0	2	0	3	0	12
知的障害者	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	5
精神障害者	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	6
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	3	1	2	1	1	1	2	3	1	3	2	23

(4) 会議・研修等

①専門員・業務担当者研修

日付	研修・会議名	主催	参加者
4/22(月) 26(金)	平成31年度 地域福祉権利擁護事業 新任専門員・業務担当者研修	東京都社会福祉協議会	1名
6/28(金)	令和元年度 第1回 地域福祉権利擁護事業・業務連絡会	東京都社会福祉協議会	1名
6/28(金)	平成31年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「生活保護制度の理解」	東京都社会福祉協議会	2名
8/7(水)	令和元年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「対人援助技術 ～搾取・虐待が疑われる利用者への対応～」	東京都社会福祉協議会	1名
12/19(木)	令和元年度 地域福祉権利擁護事業 北多摩北部ブロック ケース検討会	北多摩北部ブロック	3名
2/7(金)	令和元年度 第2回 地域福祉権利擁護事業・業務連絡会	東京都社会福祉協議会	1名
2/13(木)	令和元年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「事例検討」	東京都社会福祉協議会	1名

②生活支援員研修

日付	研修・会議名	主催	参加者
5/14(火)	2019年度 第1回 地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会	東村山市社会福祉協議会	18名

7/9(火)	2019年度 第2回 地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会	東村山市社会福祉協議会	18名
9/10(火)	2019年度 第3回 地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会	東村山市社会福祉協議会	17名
10/29(火)	令和元年度 地域福祉権利擁護事業 清瀬市・東村山市 二市合同生活支援員研修会	東村山市社会福祉協議会	14名
11/26(火)	令和元年度 地域福祉権利擁護事業 新任生活支援員研修会	東京都社会福祉協議会	2名

③会議

日付	研修・会議名	主催	参加者
5/24(金)	令和元年度 第1回 北多摩北部ブロック権利擁護業務担当者会議	北多摩北部ブロック	2名
7/10(水)	事務研究会	東村山市生活福祉課	2名
8/8(木)	令和元年度 第2回 北多摩北部ブロック権利擁護業務担当者会議	北多摩北部ブロック	2名
10/24(木)	令和元年度 第3回 北多摩北部ブロック権利擁護業務担当者会議	北多摩北部ブロック	2名
10/30(水)	令和元年度 地域福祉権利擁護事業 センター長会議	東京都社会福祉協議会	1名
12/25(水)	平成31(2019)年度 地域福祉権利擁護事業 実施社協等訪問調査	東京都社会福祉協議会	5名

9 成年後見制度推進事業

市民後見人は、新たに2件を受任し、社協が計3件の後見監督業務を行っている。また、今年度は、平成30年度市民後見人等候補者養成課程の2年目にあたり、2名に対し、地域福祉権利擁護事業の生活支援員実習を実施、登録者の増加を目指した。

(1) 成年後見人等の支援

ア) 成年後見制度の利用相談・問合せ

問合せ・新規相談件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	11	8	11	9	15	7	12	11	9	17	11	19	140
知的障害者	2	0	5	1	1	2	1	2	5	3	2	2	26

精神障害者	3	1	1	2	1	1	4	1	3	4	3	1	25
その他／不明	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	2	1	8
合計	16	10	20	13	17	10	17	14	17	24	18	23	199

イ) 問合せ・新規相談件数の内訳（複数回答）

項目	件数	項目	件数
成年後見制度利用・手続き等	141	遺言作成	6
任意後見制度利用・手続き等	20	親亡き後	5
専門職の紹介等	26	相続手続き	14
後見人等就任後の業務	15	債務問題	3
監督人との問題	2	消費者被害	4
後見人等の辞任について	3	金銭搾取、経済的虐待	4
日常的な金銭管理	34	親族間紛争	8
財産（不動産含む）の管理	27	入院費、施設利用料等の支払い	20
預貯金の取引、解約	16	将来・死後	13
福祉サービス利用、入所等契約	12	不明／その他	0
合計		373	

継続相談支援件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	100	132	97	90	74	87	93	57	25	44	61	104	964
知的障害者	4	8	15	6	5	8	11	6	8	15	22	20	128
精神障害者	5	7	12	17	9	6	13	13	17	16	28	34	177
その他／不明	0	0	5	7	7	1	7	0	0	0	8	8	43
合計	109	147	129	120	95	102	124	76	50	75	119	166	1,312

①成年後見人等支援のための実務研修、連絡会等

1) 公開講座

日時	講座名	講師	人数
7/2 (火) 14:00～17:00	関係者向け講座 成年後見制度について～ 支援のポイント～	社会福祉士 岡野範子氏 (公益社団法人 東京社会福祉士会 ぱあとなあ東京)	45名
11/30 (土) 14:00～16:00	市民向け講演会 知って役立つ！成年後見 制度	司法書士 小室博志氏 公益社団法人 成年後見センタ ー・リーガルサポート東京支部	25名

2) 出前講座

日 時	講座名	対象者	人数
6/3 (月) 13:30~14:30	出前講座 成年後見制度と地域福祉権利擁護 事業について	民協 生活福祉部会	20名

3) 地域ケア会議

日 時	個別検討会	対象者	人数
2/26 (水) 18:30~20:00	地域ケア会議 障がい者就労支援について	福祉サービス関係者	約20名

②その他の取り組み

- 1) 市長申立て数 12件 (高齢12件、知的0件、精神0件)
- 2) 緊急的な事務管理 新規8件、終了9件 (過年度の継続ケース含む)、管理中5件
- 3) 第三者後見人候補者紹介 36件 (弁護士3件、司法書士22件、社会福祉士11件)

(2) 地域ネットワークの活用

- ①初期相談窓口ネットワーク会議 (6/24・参加者18名、1/21・参加者17名)
- ②成年後見制度推進機関ケース検討会議 (6/12・3件、9/5・2件、10/23・2件、12/23・5件
3/4・4件)
- ③専門職団体との業務連絡会
リーガルサポート東京支部 (司法書士) (7/12・参加者32名)
- ④成年後見制度利用促進計画に関する連絡会 (7/3、1/29)
- ⑤東京都成年後見制度推進機関 連絡会 (11/20)
- ⑥成年後見制度推進機関 地域連携ネットワーク会議 (11/20)
- ⑦多摩地域自治体と多摩地域社会福祉協議会と弁護士会との懇談会 (2/17)

(3) 運営委員会

運営委員会を下記日程で開催。成年後見制度利用促進計画を踏まえ家庭裁判所が改訂した申立て関係書式の運用について協議し、専門職や関係機関からの助言や指導をいただいた。

日 時	内 容	出席者
8/27 (火) 18:00~19:15	・令和元年度事業計画 ・診断書の改定と本人情報シートの運用について	19名
2/28 (金) 15:00~17:00	・令和元年度事業報告について ・令和2年度事業計画 (案) について ・報告「市民後見人の受任状況」について ・親族後見人への支援の在り方について	14名

(4) 法人後見監督の受任 (発展・強化計画関連事業)

- ①市民後見共有会議 (8/16・1件)
- ②市民後見人の受任状況

	性別	申立日	審判日	終了日	類型	原因障害
1	女	H29. 9. 29	H29. 10. 16		後見	認知症、精神障害
2	女	R 1. 8. 28	R 1. 9. 13		後見	認知症、知的障害
3	男	R 1. 11. 6	R 1. 11. 29		後見	認知症

③法人後見監督の相談支援件数

	高齢者	知的障害者	精神障害者	不明／その他	合計
相談件数	45	0	0	0	45

(5) 市民後見人等候補者の養成及び支援の一体的実施（発展・強化計画関連事業）

①市民後見人の養成

1) 平成30年度受講生2名の生活支援員実習と登録選考を実施。

2) 市民後見人等候補者の登録

27年度修了生6名、30年度修了生2名 計8名（うち後見人等の受任者3名）

②市民後見人等候補者の支援

1) 7市合同フォローアップ講習の開催

平成27年度より、近隣7市（小金井市、小平市、西東京市、東久留米市、三鷹市、武蔵野市、東村山市）による市民後見候補者等養成に関する合同会議を開催、実施内容について検討を行っている。今年度の幹事は東久留米市、副幹事は西東京市。

	日時	内容・講師	出席者
1	11/7（木） 10:00～13:00	わかりやすい後見人の実務～受任から終了まで～ 司法書士 河西 麻子氏	東村山市 4名
2	11/7（木） 14:30～16:30	対人援助の方法～被後見人により良い支援をする ために～ ルーテル学院大学教授 福島 喜代子氏	東村山市 3名
3	11/21（木） 10:30～12:30	知って生かそう、制度のあれこれ！ 社会福祉士 黒田 山彦氏	東村山市 1名
4	11/21（木） 13:30～15:30	市民後見人に求められるもの・意思決定支援 みたか司法書士事務所 司法書士 稲岡 秀之氏	東村山市 2名
5	2/14（金） 10:30～12:00	終末期に寄り添う～市民後見人のメンタルケア～ 株式会社ケアーズ 東久留米市白十字訪問看護ステーション 所長 中島 朋子氏	東村山市 2名
6	2/14（金） 13:30～15:30	実践報告（未受任者向け） 社会福祉士 田中 康一氏	東村山市 1名
7	2/14（金） 13:30～15:30	事例検討会（受任者向け） 社会福祉士 永吉 久美氏	東村山市 2名

8	2/14 (金) 15:30~16:00	事例検討まとめ 未受任者、受任者合同	東村山市 3名
---	-------------------------	-----------------------	------------

2) 市民後見人候補者連絡会 (東村山市単独開催)

	日 時	内 容	出席者
1	9/10 (火) 14:00~15:00	・受任している市民後見人の活動状況について ・市民後見人のケース受任状況について ・7市合同フォローアップ講習について	5名

③会議の開催等

1) 成年後見事例検討会 (5/17・1件、8/27・1件、11/26・2件、2/28・1件)

2) 7市合同後見人候補者等養成講習事務局会議

	日 時	内 容	出席者
1	7/10 (水) 14:00~15:30	7市合同フォローアップ講習について	東村山市 2名

(6) その他推進機関業務

①推進機関業務

1) 市地域福祉推進課との定例協議

計 11 回実施 事業運営について協議・検討を行った。

2) 顧問弁護士相談

計 12 回実施・延べ相談件数 35 件

来所時に職員からの相談事案に対して専門の見地から助言いただいた。また、緊急性の高い事案には電話等で迅速に助言いただいた。

②会議・連絡会への参加

1) 利用者支援区市町村連絡会 (5/29、2/14)

2) 成年後見推進機関テーマ別研究会議 (8/19、12/6)

3) 家事関係機関と東京家庭裁判所との連絡協議会 (2/19)

③各種研修会等への参加

1) 成年後見制度推進機関フォローアップ研修 (5/24、7/22)

2) 成年後見制度利用促進体制整備研修 (9/17~19、12/16~18)

④実習生受け入れ

社協実習生 (5月~12月)、市役所実習生 (8月)

Ⅲ 在宅福祉サービス事業

1 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

(1) 訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

登録ヘルパーの人数は、年間を通じて新規採用が2名（うちガイドヘルパーとの併任1名）、退職者が2名と全体では53名のヘルパーが登録している。他の事業所と同様、当事業所においても活動要請に対して介護職員が慢性的に不足している。

要介護と認定された方への訪問介護に比べて、要支援、事業対象者への介護予防のサービス提供の割合が増加してきている。その結果、サービス提供時間や内容が限定され経営的に厳しい状況を生んでいる。

下半期は、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事業所としての取り組み状況を積極的に利用者に向けて発信し、日常生活上の不安解消に努めた。

①サービス内容

介護保険制度で要支援・要介護と認定された方及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者の方を対象に、居宅サービス計画に基づき訪問介護員を派遣し、生活支援・介護サービスを提供することにより利用者の在宅生活を支援する。内容としては、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、外出付添、生活に関する相談助言等である。

②サービス提供時間

月曜日～土曜日（祝日を含む）の午前7時～午後7時の間

③実績

利用者数及びサービス提供時間数（時間数は時間：分で表示）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
訪問介護	人数	78	77	77	73	72	66		
	時間数	705:00	709:35	625:50	710:40	628:30	559:50		
訪問型サービス	人数	39	39	39	39	41	42		
	時間数	179:00	172:35	153:20	171:40	179:05	174:35		
自費	人数	22	19	20	22	17	20		
	時間数	42:30	43:00	54:30	46:00	62:00	48:30		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
訪問介護	人数	66	65	63	60	57	57	811人	
	時間数	583:15	571:20	578:25	539:00	484:55	538:25	7,234時間45分	
訪問型サービス	人数	41	40	39	42	41	43	485人	
	時間数	191:50	177:55	168:30	169:25	157:25	187:50	2,083時間10分	
自費	人数	16	16	16	19	15	15	217人	
	時間数	60:00	65:00	45:30	51:00	45:00	41:30	604時間30分	

※自費の利用者は訪問介護又は訪問型サービスの利用者を含む

訪問介護員稼働実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
嘱託	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
登録	39	37	36	41	38	38	39	38	38	41	35	40	460
合計	42	40	39	44	41	41	42	41	41	44	38	43	496

※嘱託の人数にはガイドヘルパー派遣事業の嘱託職員1名を含む

④職員研修

東村山市訪問介護事業者連絡会主催の研修への参加

研修・講習会	月/日	人数
口腔ケア	7/16	5
自立支援を理解する・介護予防が目指すもの（Kネット主催）	7/25	2
技術研修・オムツ交換①	9/20	1
技術研修・オムツ交換②	11/14	3
第2回介護予防が目指すもの（Kネット主催）	1/16	1
技術研修・移乗	2/18	2

社協訪問介護員内部研修会の開催

回	月/日	内 容	参加者数
第1回	6/14	ヘルパー心構え	22
第2回	11/17	認知症ケア・訪問介護編	20
第3回	2/21	自己評価・自己目標設定研修	18

管理者、サービス提供責任者研修等

研修・講習会	月/日	人数
令和元年度介護サービス事業管理者「高齢者虐待防止研修」	8/23	1

新任ヘルパー研修

新しく入職した訪問介護員に対して、ヘルパー心構えの読み合わせと同行訪問を実施

⑤会議

会 議 名	開催回数	内 容
ケース会議（サービス担当者会議）	147回	利用者へのサービス内容の見直し、検討等
チーフヘルパー会議	20回	訪問介護事業所の運営に関する連絡調整等

⑥その他

- 登録ヘルパーへの被服等の支給（オリジナルマフラータオル・エプロン）
- 健康診断の実施（嘱託職員3名、非常勤職員24名）
- 東村山市訪問介護事業者連絡会に加入し、サービス提供責任者部会に参加

2 居宅介護支援事業、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援事業

居宅介護支援事業では、介護保険制度改正により管理者に主任ケアマネジャーを配置することが求められるなど、事業の管理運営体制を整備することが大きな課題となっている。この状況に対応するため今年度、管理者が東京都の主任介護支援専門員研修を受講した。

(1) 居宅介護支援、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援

①ケアマネジメントの実施、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援の受託
要介護度別介護報酬請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(%)
予防受託	8	8	8	8	7	10	7	6	6	9	9	10	96	9.3
要介護1	44	41	40	36	33	32	31	30	30	28	24	22	391	37.9
要介護2	25	27	32	31	31	32	30	30	29	27	26	25	345	33.4
要介護3	10	10	10	9	9	9	9	11	11	12	10	11	121	11.7
要介護4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	2	29	2.8
要介護5	4	4	4	4	5	4	5	4	4	4	5	4	51	4.9
合計	94	93	97	91	88	90	84	83	82	82	75	74	1033	100.0

※予防受託は要支援者と事業対象者の合計（地域包括支援センターからプラン作成を受託）

加算の上半期請求件数

加算内容	件数	加算内容	件数
初回加算	4	入院時情報連携加算Ⅰ	4
退院・退所加算Ⅰ	3	入院時情報連携加算Ⅱ	0
退院・退所加算Ⅱ	1		

②研修・会議等

- 東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅰ（受講1名）
- 東京都主任介護支援専門員研修（受講1名）
- 東村山市居宅介護支援事業者連絡会総会 4/12
- 「自立支援を理解する 介護予防が目指すもの」（Kネット主催）7/25
- 令和元年度東村山市居宅介護支援事業所集団指導・介護支援専門員の資質向上研修会 8/19
- 圏域別高齢者虐待防止地域ケア会議（地域包括支援センター主催）11/28、12/3
- 「障害の計画相談事業者と介護保険のケアマネの学習会」（基幹相談、基幹包括主催）12/19
- 北部・地域ケア会議（食事サービス関連）12/24
- 「第2回自立支援を理解する・介護予防が目指すもの」（Kネット主催）1/16
- 所内・居宅介護支援事業職員会議 12回

3 ふれあい事業

ふれあい事業は、一元貨募金を財源に、公的な制度の隙間を埋めるサービスとして当協議会が独自に取り組んでいる事業であり、社会福祉法人が実施する「地域における公益的な取組」に位置付けることができる。

(1) ひとり暮らし高齢者等ふれあい訪問事業（発展・強化計画関連事業）

ひとり暮らしの虚弱な高齢者を対象に、安否確認を行うため、東京ヤクルト販売（株）に委託して乳酸菌飲料の配布を行った。訪問日は、月曜日、水曜日、金曜日の週3回。

①利用者の状況

○登録者数：89名（令和2年3月末現在） ◇新規登録者；7名

○取消者；4名

②延べ訪問回数：8,944回

③安否確認活動：25件

業者からの連絡を受け、利用者の緊急連絡先、ケアマネジャーや地域包括支援センターなどの関係機関、地域の民生委員等と連絡をとり、安否確認活動を21回行った。

安否確認の結果は ①取り忘れ5件 ②入院・入所6件 ③外出・外泊10件 ④その他4件であった。

(2) ひとり暮らし高齢者等ふれあい電話訪問事業（発展・強化計画関連事業）

ひとり暮らし高齢者を対象に孤独感の緩和を主な目的として、電話訪問員（7名）が週に1回電話による訪問をして、話し相手になっている。利用者からの相談に関しては、電話訪問員や担当職員が関係機関等へ連絡をして対応を行った。

定期的に電話訪問員の研修を行っているほか、利用者や電話訪問員との交流会を年に1回開催している。

①利用者の状況

○登録者数：26名（令和2年3月末現在） ○新規登録者；0名 ○取消者；4名

②延べ訪問回数：1,216回

③付帯するケース活動：31回

④電話訪問員研修会等

電話訪問員の資質向上とケース検討、交流会の準備などのために研修会を実施した。

○年間予定、研修予定等の話し合い 4/12

○サービス付き高齢者住宅「愛の泉 恩多レジデンス」見学 5/9

○研修：口腔ケアのポイント 講師：三上直一郎先生（ミカミ歯科医院） 6/13

○上半期ケース報告会 7/11

○ふれあい電話訪問交流会について（準備） 9/12

○ふれあい電話訪問交流会 10/25（利用者18名参加）

○ふれあい電話訪問交流会反省会 11/14

○研修：市内配食サービス試食会（サンホーム）、地域福祉活動計画について 1/9

○研修：三障害、発達障害の方の特性について

講師：稲森直孝氏（基幹相談支援センター）2/13

※3/14の下半期ケース報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4 ガイドヘルパー派遣事業（身体障害者居宅介護事業）

ガイドヘルパー派遣事業は視覚障害者（児）を対象に、日常生活上必要な外出における付き添いと、文書等の代読・代筆、買い物等の介助を行うために、ガイドヘルパーを派遣する事業。

この事業は、市が実施する地域生活支援事業の「移動支援事業」と、障害者総合支援法による「介護給付費に位置づけられた同行援護と居宅介護」に区分される。また、65歳未満の利用者の通院は居宅介護で対応、65歳以上の利用者の通院は、介護保険制度が優先適用される。

今年度初めて、東京都に福祉・介護職員処遇改善加算の届出を行い、ガイドヘルパーの処遇の改善を図った。

（1）ガイドヘルパーの利用に関する相談及び派遣調整

①利用契約者数

40名（前年度比；増減なし）

②ヘルパー登録者数

29名（前年度比；1名減）

③派遣件数・派遣時間

移動支援（各種申請、冠婚葬祭、ウォーキング、買い物等）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	37	40	35	39	26	34	31	39	33	40	30	27	411
時間	102.5	140.5	93.5	116.5	75.5	102.5	98.0	145.5	102.5	112.5	89.5	52.5	1231.5

同行援護（各種申請、冠婚葬祭、ウォーキング、買い物等）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	149	152	145	147	136	140	139	147	158	129	136	147	1725
時間	338	325	328	331	309	322.5	319.0	339.5	347.5	291.0	301.0	274.5	3826.0

居宅介護（通院、リハビリ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	19	20	23	46	38	40	38	35	33	43	19	32	386
時間	81.5	67.5	73.0	106.5	105.5	93.5	101.0	91.0	89.0	115.5	47.0	78.5	1049.5

（2）研修等

ガイドヘルパー派遣事業では、登録ガイドヘルパーの資質向上のために業務報告会と現任者研修をそれぞれ年2回実施している。また、視覚障害者の自立支援と社会参加の促進及び従事者の資質向上を目的に、同行援護サービスを提供している近隣の事業者と情報交換や交流を行った。

①業務報告会、現任者研修の実施

名称（時間/場所）	日程	内容	参加者
業務報告会 (18:00～20:00 /地域福祉活動室)	4/24	平成30年度業務報告、意見交換、事務連絡 他	24名
現任者研修会 (18:00～20:00 /地域福祉活動室)	9/25	ガイド同士の情報交換から接遇とガイド技術を学ぶ 講師:宮野光子(ガイドヘルプ事業コーディネーター)	22名
業務報告会 (18:00～20:00 /地域福祉活動室)	10/30	令和元年度上半期業務報告、意見交換、事務連絡	18名
現任者研修会 (18:00～20:00 /地域福祉活動室)	2/7	カウンセリングの視点から学ぶ「真の傾聴的コミュニケーション」 講師:関谷大輝氏(東京成徳大学応用心理学部)	21名

※3/5に予定していた第3回目の現任者研修は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

②同行援護近隣事業者研修会

日時	場所	内容	参加事業者
令和元年6月17日 (月)14:00～17:00	東村山市社会福祉協議会	各事業所の現状紹介、業務体制、実績記録、事例等	5事業所参加

※参加事業所:清瀬市社会福祉協議会、豊島区社会福祉事業団、東久留米市立さいわい福祉センター、視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業(有)春光、東村山市社会福祉協議会

5 手話通訳者派遣事業

聴覚障害者の意思疎通、情報保障、広範な社会参加のために活動した。必要な場所と時間に市内の登録手話通訳者を派遣し、遠方等の場合は都内の社会福祉法人に派遣を依頼した。聴覚障害者が安心して地域生活を送れるよう相談を受け、関係機関等と連携して支援した。高齢の聴覚障害者や重複障害者への支援等、相談内容も複雑化してきている。

手話ボランティア、手話通訳者養成のため手話講習会を開催した。手話通訳者新規採用のため、市登録手話通訳者選考試験が実施(市主催)され、新たに2名が合格し新年度より活動開始する。

(1)手話通訳派遣事業実績

利用登録者数	個人52(男21、女31)	団体1
利用者実数	個人31(男12、女18)	団体1、市17課、社協・ボラセン
登録手話通訳者数	16名(男1女15)	

通訳事業利用件数	1504 件（派遣 647、相談 857）	市 55、社協 14、聴障協 1（派遣）
延べ通訳者派遣人数	527 人（登録通訳者のみ）	

①手話通訳月別利用件数 () は東京手話通訳等派遣センター依頼分

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
件数	75 (9)	46 (2)	51 (4)	44 (1)	43 (5)	63 (2)	55 (0)	56 (2)	58 (4)	73 (2)	55 (2)	28 (0)	647 (33)	587 (62)

※派遣先：

市内→482 件

市外→165 件 大島、清瀬、国分寺、小平、立川、西東京、東久留米、東大和、府中、三鷹、武蔵村山、所沢、新座、

他法人依頼(62 件) (足立、中野、清瀬、国分寺、調布、東大和、府中、三鷹、武蔵村山、大月、川口)

②利用内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生命と健康	36	21	19	25	20	40	29	26	28	46	18	12	320
権利保持	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6
行政	0	2	1	3	2	2	1	4	2	5	8	1	31
福祉	7	2	3	1	1	1	3	2	6	4	3	1	34
労働	6	6	3	3	3	5	5	4	5	4	4	2	50
住居	2	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	8
教育	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	4
文化	2	2	3	1	4	1	1	2	1	1	1	0	19
人間関係	3	3	4	2	2	3	3	4	4	5	9	0	42
団体会議	0	0	0	1	0	2	2	1	1	0	1	0	8
その他	16	9	18	8	9	8	9	11	10	8	10	9	125
合計	75	46	51	44	43	63	55	56	58	73	55	28	647

(2) 相談

利用内容と件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康問題	9	11	4	14	16	13	12	22	12	7	4	3	127
労働問題	0	10	3	3	2	1	1	0	0	0	1	0	21
福祉	1	8	4	2	0	0	0	2	7	3	1	3	31
代読(手話化)	18	12	521	16	24	27	13	14	10	12	17	30	214
身辺援助	23	14	10	23	12	16	34	22	32	25	35	32	278
その他	15	20	18	17	10	13	12	12	11	20	12	26	186
合計	66	75	60	75	64	70	72	72	72	67	70	94	857

職場や公的機関からの文書を手話に翻訳するもの、職場・親戚宅への電話連絡、病院への予約電話等その場で対応できるものも多いが、相談内容が多様化・複雑化しており、介護サービス、終末期医療や死後事務処理、生活保護等々家計相談については、それぞれ他機関や一と職員と連携し相談を受け、あるいは同行して問題解決の支援をした。

(3) 手話講習会

①手話講習会開催状況

講座名	期 間	時 間	回数	会 場	受講数	修了数	修了
入門・昼	5/14～12/14	10:00～12:00	25	中央公民館	18	14	78.0%
入門・夜	5/14～12/14	19:15～21:15	25	〃	10	6	60.0%
通訳基礎	5/13～2/8	18:45～20:45	30	地域福祉活動室	24	17	70.8%
通訳応用	5/14～2/8	19:00～21:00	30	市民センター	18	10	56.0%
通訳養成	5/22～2/8	19:00～21:00	25	〃	4	4	100.0%

※ 各クラスで開講し、基礎・通訳応用・通訳養成クラスは合同閉講式を行った。入門（昼夜とも）、通訳応用クラスは火曜日、基礎クラスは月曜日、通訳養成クラスは水曜日に講習会を開催した。

②手話講習会運営委員会

手話講習会の総合調整等のため運営委員会のほか、臨時で受講試験合否審査会議を別途開催した。

委員；聴覚障害者協会 2 名、昼・夜手話サークル各 2 名、社協 1 名(事務局)、計 7 名

回数；12 回(1 回/月程度 開催 19:00～21:00)

③手話講習会講師・助手会議等

引継ぎを兼ねた全体講師会議を 2 回開催。

年間の振り返りの講師会議を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

講 師：6 名（委員兼任を含む）

アシスタント：4 名（委員や他クラスのスタッフ兼任者を含む）

(4) 中途失聴・難聴者対象手話講習会

市内在住の難聴者と成人後聴覚を失った方々およびその家族を対象にした手話講習会を開催した。これは（3）の講習会とは異なり、障害当事者の社会復帰を目的としている。中途失聴者にとって、コミュニケーション手段の獲得は閉ざされていた心を開き、新たな人生への再出発となり、同じ障害をもった方々との情報交換・相談の場としての機能も併せ持ったものとなっている。

今年度は運営委員会（東村山市難聴者の会より 2 名の委員、講師、アシスタント、社協も参加）を 3 回設け、東村山市登録手話通訳者 2 名が指導にあたった。

日 時；10 月 3 日～11 月 21 日、10:00～12:00（全 8 回）

場 所；いきいきプラザ 3 階

参加者；5 名（当事者 2 名）

(5) 手話通訳者研修

自主研修 21回（原則として毎月第1土曜、第3月曜 19:00～21:00）行い、うち、外部講師による研修を2回行った。3月に予定していた外部講師招聘の研修会に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(6) 東村山市意思疎通支援事業連絡調整会議への参加

事業の円滑な運営を図るために、市主催で連絡調整会議が開催された。通常行われる3回目については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度内は中止となった。

令和元年年6月28日、11月1日、(全2回) 19:00～、市民センター

(7) 意思疎通支援事業に関する市との定例協議

手話通訳者派遣事業に関することを中心に所管部署との事業に関する調整を行った。

4月23日(火)、6月20日(木)、8月30日(金)、10月17日(木)、12月19日(木)、
令和2年2月4日(金)

(8) 利用者の声を聞く会

毎年度末に、より良い通訳活動を目指し登録通訳者の協力を得て、手話通訳を利用者の意見や要望を聞く会を実施してきた。今年度末は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催をしなかった。

6 移送サービス事業

利用者の利便性向上のため、平成29年度より車いすの自走に不安がなく介助を常に必要としない方で、社協が安全と判断した場合、単独での乗車を可能としてきた。

登録者数は99名（令和2年3月末現在）

(1) 移送サービス調整・運行

下表のとおり移送車の運行を行った。

①月別運行件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者実数	36	32	36	38	34	36	32	36	42	44	34	37	437
利用件数	95	95	91	108	111	116	97	109	135	112	96	97	1262

②利用内容

	通院	入退院	通所	入退所	諸手続き	会議等	その他
件数	843	34	45	12	32	16	280

※その他：趣味、リハビリ、買い物等

(2) 調査・検討（発展・強化計画関連事業）

利用対象者の拡大についてファンドレイジングチーム（内部検討会）にて検討を行い、12月より社協ガイドヘルプ事業利用者のモニター利用を開始した。（モニター利用登録者15名）

7 車いす短期貸出事業

身体（下肢）が不自由な市民の方を対象に車いす等の貸し出しを行った。また小中学校等の車いす体験、近隣の高齢者施設、障害者施設等の行事等で複数台の貸し出しを行った。また、最近では、介護保険制度の谷間を埋めるようなニーズが増えてきている。

ボランティアグループ“ウィールの会”に車いすの清掃、簡単なメンテナンスを月3回程行っていただいている。

令和元年度	貸出	返却
社協事務所	141	128
計	141	128

IV 法人運営

1 組織運営事業

(1) 理事会・評議員会・役員会の開催、監事監査の実施

項目	実績				
役員等の現状	(令和元年6月21日改選 令和2年3月31日現在) 会長；大原喜美子 副会長；遠藤剛之、小山信男 常務理事；江藤佳子 会計担当理事；丹代了 理事；鳥羽美香、畠山香壽恵、松浦弘子、高橋照定、松田幸夫、酒井雅司 比留間克美、藤原公子、吉田謙、間野雅之 監事；小澤進、瀧口章江				
	顧問	監事	理事	評議員	
	定数	若干名	2名	14～16名	28～32名
	現員数	2名	2名	15名	30名
理事会	回数	日時・会場	出席	主な内容	
	第1回	6/4(火) 10:00～11:59 社会福祉協議会	出席 14名 監事 2名	平成30年度事業報告の承認 平成30年度決算報告の承認 令和元年度定時評議員会の招集 次期理事・監事候補者の選任 障害者地域自立生活支援センター運営要綱の廃止 基幹相談支援センター運営要綱の制定 福祉サービス総合支援事業実施要綱の一部改正 評議員候補者の推薦	
	第2回	6/21(金) 13:30～14:25 社会福祉協議会	出席 14名 欠席 1名 監事 1名	会長並びに副会長の選定 顧問の選任 常務理事並びに会計担当理事の指名 委員会等委員の選任	
	第3回	10/29(火) 10:00～11:11 社会福祉協議会	出席 13名 欠席 2名 監事 1名	定款細則の制定 障害者虐待防止マニュアルの制定 苦情解決制度第三者委員の委嘱	
	第4回	12/24(火) 10:00～11:11 社会福祉協議会	出席 12名 欠席 3名 監事 2名	資金収支補正予算案の承認 職員の給与に関する規程の一部改正 再雇用職員の取扱に関する要綱の一部改正 評議員候補者の推薦 第2回評議員会の招集	
	第5回	3/17(火) 10:00～11:24	出席 13名 欠席 2名	資金収支補正予算案の承認 令和2年度事業計画案の承認	

評議員会	社会福祉協議会	監事 1名	令和2年度資金収支予算案の承認 職員の給与に関する規程の一部改正 嘱託職員に関する要綱の一部改正 非常勤職員の取り扱いに関する要綱の一部改正 基幹相談支援センター運営要綱の一部改正 手話通訳業務実施要綱の制定 登録手話通訳者に関する要綱の制定 第3回評議員会の招集
	回数	日時・会場	出席 主な内容
	第1回	6/21(金) 10:00~12:07 社会福祉協議会	出席 24名 欠席 6名 理事 1名 監事 1名 平成30年度事業報告の承認 平成30年度資金収支決算の承認 理事及び監事の選任
	第2回	1/10(金) 10:00~11:40 社会福祉協議会	出席 24名 欠席 6名 理事 1名 監事 1名 資金収支補正予算案の承認
第3回			3/27(金)開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止し、決議の省略による手続きに移行した。
理事・評議員 合同会議	理事改選に伴い、理事・評議員合同会議を開催した。 社会福祉協議会の理念や理事・評議員の役割などを説明し、その後は新しい部会に分かれて顔合わせを行った。 実施日：令和元年6月21日(金) 16:00~17:00		
役員会	会長・副会長・常務理事・会計担当理事で構成する定例役員会を毎月(8月を除く)開催した。		
監査等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・会計内部監査 5/30 10:00~11:00 内容；会計担当理事による30年度決算監査 11/20 10:00~12:00 内容；会計担当理事による令和元年度上半期会計監査 ・監事監査 5/30 13:30~16:00 内容；平成30年度事業・決算監査 11/27 10:00~12:00 内容；令和元年度上半期事業・会計監査 		

(2) 部会・委員会の開催

項目	実績		
部会・委員会の活動			
① 女性・子ども部会〔委員 10 名〕			
昨年度決定した事項に基づき、女性目線での学習を進めることを確認した。			
月日	出席	内容	
7/19	8 名	会 議	部会員自己紹介・正副委員長の選出
10/3	8 名	会 議	今後の部会活動について
12/11	7 名	講 義	女性が抱える課題と東村山市の取組について 講師：東村山市市民部市民相談・交流課 男女共同参画推進係 南波いつみ氏
2/26	6 名	講 義	東村山市における子育て支援について 講師：東村山市子ども家庭部子育て支援課 保健師 横山裕美氏
②心身障害者（児）部会〔委員 10 名〕			
地域生活支援拠点事業について学習し、理解を深めた。			
月日	出席	内 容	
5/20	8 名	会 議	これまでの振り返りと次回以降の活動について
7/19	9 名	会 議	部会員自己紹介・正副委員長の選出
8/26	8 名	会 議	今後の部会の活動についての検討
11/18	8 名	講 義	地域生活支援拠点事業について 講師：八王子市役所 障害者福祉課 遠藤徹也氏、 高橋宏昌氏
③高齢者部会〔委員 10 名〕			
介護における課題や、介護保険法改正について学習し、理解を深めた。			
月日	出席	内 容	
6/6	7 名	会 議	次期の部会活動で取り上げてみたいテーマ・内容について
7/19	7 名	会 議	部会員自己紹介・正副委員長の選出
9/20	5 名	講 義	東村山市における地域ケアの歴史について ～東村山市老人保健福祉事業の活動を通して～ 講師：東村山市社会福祉協議会前事務局長 小野寺隆氏
11/29	5 名	視 察	木下の介護 介護付き有料老人ホーム リアンレーヴ新小平
④小地域福祉活動部会〔委員 9 名〕			
小地域福祉活動について意見交換を行った。			
月日	出席	内 容	
7/19	7 名	会 議	部会員自己紹介・正副委員長の選出
8/19	7 名	会 議	今後の部会活動についての検討
11/1	6 名	会 議	活動場所・拠点、福祉協力員の活動について情報交換

⑤福祉だより編集委員会〔委員 6 名〕

市民に対して、年 5 回の発行（うち、5 月 1 日号は特集号）により、社協事業の広報に努めた。

日にち	出席	内 容
5/29	4 名	福祉だより 7/1（第 208 号）の企画・編集
7/19	5 名	部会員自己紹介・正副委員長の選出
8/27	3 名	福祉だより 10/1（第 209 号）の企画・編集
10/29	6 名	福祉だより 12/1（第 210 号）の企画・編集
1/27	3 名	福祉だより 3/1（第 211 号）の企画・編集

（3）会員制度の啓発、会員拡充

会員グッズや社協大会等で法人化 50 周年の感謝の気持ちを伝えるとともに、例年に引き続き、「ひとりぼっちのいない町」をテーマに掲げて、加入依頼チラシや会員ニュース等で広く PR を行った。

令和元年度 会員加入状況	区 分		会費額 (1 口)	令和元年度		平成 30 年度	
				会員数	金 額	会員数	金 額
正会員	個 人	500 円	5,545	4,472,500	5,765	4,648,000	
	団 体	1,000 円	128	612,000	127	620,000	
賛助 会員	一般賛助	1,000 円	140	170,000	150	184,000	
	特別賛助	5,000 円	61	435,000	65	465,000	
			5,874	5,690,000	6,107	5,917,000	
会員加入率 8.0%（30 年度 8.4%）東村山市世帯数 72,676 世帯							
社協大会の 開催	6 月 29 日（土）12:45～16:30 中央公民館ホール 参加者 323 名（職員を除く） 内容：ア）表彰・感謝状贈呈 福祉協力員 15 期；6 名 福祉協力員 10 期；19 名、福祉協力員 5 期；22 名 永年・高額寄付；10 名（団体） ボランティア活動功労；4 件、福祉協力店永年活動；3 店舗 イ）社協 50 年のあゆみ パワーポイントによる ロ）演奏会 明治学院グリーハンドベルクワイア						
祝賀会の開催	6 月 29 日（土）17:30～19:30 市民センター 参加者 69 名（関係者除く）						
会員制度啓発 会費募集の取 り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・会員ニュース発行 5,500 部 ・福祉だより 5 月 1 日号に団体会員名、7 月 1 日号に個人正会員数を掲載。 5 月 1 日号の特集ページでは、法人化 50 周年の感謝を込めて市内の地図を用いて各町の協力してくれている団体会員を見える化し、社協事業への協力と感謝を掲載した。また 7 月 1 日号では、社協会員啓発のため 1 面前面に会費の用途を掲載し、会員募集の呼びかけに努めた。 ・社協会員企画「会員ひろば」を事務所内に設置し、会員との交流に努めた。 ・会員制度が「誰かにつながる・社協につながるきっかけ」となることから、昨年から引き続き、テーマを「ひとりぼっちのいない町」として、加入依頼チラシや会員ニュース等で広く活用した。 						

(4) 運営体制の整備 (発展・強化計画関連事業)

項目	実績
規程等の整備	定款、規程、要綱等の改正、所轄庁への届出等を行った。
法人経営管理業務の改善	昨年度に引き続き、会計事務所と顧問契約を締結し、適正な財務会計体制の確立と経営管理の改善に努めた。また、令和2年より新しい財務・給与システムを導入し、業務の効率化を図った。
P T会議の開催	平成31年3月で法人化50周年を迎え、周年行事の検討をプロジェクトチームにて行った。(7回) 新しく福祉バザーの今後について検討するバザーP Tを立ち上げ、福祉バザーの実施について検討を行った。(3回)
局会議の開催	係間連携を強化し、組織の効果的な運営を図るために毎月局会議を開催した。

(5) 自己財源の確保 (発展・強化計画関連事業)

項目	実績
会員会費 (再掲)	会員数 ; 5,874 件 (30年度 ; 6,107 件) 会費額 ; 5,690,000 円 (30年度 ; 5,917,000 円)
寄附金・寄附 物品	一般寄附金 ; 210 件 3,751,046 円 (30年度 : 186 件 3,566,947 円) 物品寄附 ; 車いす 4 台、発電機、タオル等
募金運動	<p>①一円貨募金</p> <p>一円貨募金推進委員会の事務局として募金運動を推進した。募金は指定寄付として受け、移送サービス事業、ふれあい訪問・ふれあい電話訪問事業、新規事業として新たに標準服リユース事業の財源とした。募金運動期間中、小学生ボランティア6名とともに期間中2回の街頭募金を行った。昨年度に引き続き全自転車に「一円貨募金実施中」のラミネートを取り付け、募金運動のPR活動を行った。</p> <p>・街頭募金</p> <p>ア) 7月 1日 (月) 15:30~16:30 出席 18名 イ) 7月 28日 (日) 10:30~11:30 出席 10名</p> <p>・募金総額 4,278,496 円 (30年度 ; 4,503,087 円)</p> <p>②赤い羽根共同募金</p> <p>東京都共同募金会東村山地区協力会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を推進した。街頭募金については駅頭募金の実施と、前年度の反省を生かし、店頭ごとのポイントで一等をリサーチし、集客の多い日を狙って実施した。また今年度の初の試みとして、特別賛助会員を対象に募金協力の呼びかけに努めた。</p> <p>・街頭募金</p> <p>i) 10月 1日 (火) 17:30~18:30 参加者 74名 東村山駅、久米川駅、秋津駅、新秋津駅で実施</p> <p>ii) 10月 6日 (日) 11:30~12:30 参加者 26名 いなげや東村山秋津店、いなげや東村山市役所前店で実施</p> <p>iii) 10月 18日 (金) 16:30~17:30 参加者 18名 イトーヨーカドー東村山店、ヨークマート東村山店で実施</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・募金総額 2,255,960円(30年度;2,265,877円) ・地区協力会 7月3日(水)13:30~14:55 出席16名 内容;①地区協力会、募金の流れについて②令和元年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動の実施について③平成30年度地区協力会監事監査報告、その他 3月5日(木)→新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止 ③歳末たすけあい運動 東京と共同募金会が主催する歳末たすけあい運動を推進した。今年度も昨年度同様ぼんたくん特大募金箱及びガチャぼんたの設置、街頭募金においては赤い羽根共同募金と同じく、駅頭募金の実施に加えて店頭ごとのポイントで一等をリサーチし、集客の多い日を狙って実施するなど、募金額増額に努めた。 ・街頭募金 i)12月1日(日)11:30~12:30 参加者13名 いなげや東村山秋津店、いなげや東村山市役所前店で実施 ii)12月16日(月)10:30~11:30 参加者6名 ヨークマート東村山店で実施 iii)12月18日(水)10:30~11:30 参加者7名 イトーヨーカドー東村山店で実施 iv)12月20日(金)17:30~18:30 参加者43名 東村山駅、久米川駅、秋津駅、新秋津駅で実施 ・募金総額 3,702,725円(30年度;3,750,142円)
<p>配分推せん委員会の開催</p>	<p>東京都共同募金会東村山地区配分推せん委員会を開催した。</p> <p>第1回 令和元年6月19日(火)13:30~14:55 出席7名 内容;地域配分の受付・評価方法の検討、受配団体見学について検討</p> <p>第2回 令和元年9月5日(木)10:00~12:00 出席11名(地区協力員含む) 内容;受配団体見学(3ヶ所)</p> <p>第3回 令和2年1月21日(火)10:00~10:25 出席9名 内容;地域配分の配分推せん額決定、令和2年度歳末たすけあい運動配分計画の検討</p>
<p>東村山市社協ファンドレイジングチーム(FRT)の開催</p>	<p>(1)事務局会議の開催 昨年より引き続き「東村山市社協ファンドレイジングチーム(FRT)」として開催。標準服リユース事業、移送サービス事業、自主財源の確保等について検討を行った。また、年間を通じてファンドレイジングの手法を学ぶ研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局会議;7回 ・委員;6名(管理職3名、法人運営係2名、まちづくり支援係1名) ・内容;標準服リユース事業、移送サービス(試行運行 他)の検討・実施 他 <p>(2)研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ファンドレイジング研修;全12回/FRT事務局職員6名 ②ロジックモデル作成研修;全4回 ・FRT事務局職員6名、法人経営・まちづくり推進課職員10名 講師;久津摩 和弘氏(COMMNET理事) (①、②共)

福祉バザーの開催	今年度は50周年記念事業を行うため、例年のバザーは開催せずミニバザー等を実施した。 ○4/29 萩山町ミニバザー ○10/20 ボランティアまつりミニバザー ○10/27 八国山フリーマーケット出店 ○夏・冬 地域福祉センターミニバザー 売上：159,839円
自動販売機の設置	公共施設等に9台を設置 令和元年度収益633,088円(30年度；623,786円)
その他自主財源の確保	福祉協力店募金箱設置；39,909円(寄付金収入を含む) 実習受入；1,012,960円 広告収入；1,472,000円

(6) 法人管理事務(発展・強化計画関連事業)

項目	実績
法人管理事務	①人事・給与管理、社会保険、福利厚生・健康管理 ◇給与・手当等の計算 ◇入退職手続 ◇労働者名簿の管理 ◇社会保険資格得喪手続 ◇健康診断予約 ◇産業医の配置 ◇マイナンバーの管理 ◇ストレスチェックの実施 など ②財務管理 ◇予算・決算 ◇経理事務 ◇金銭出納 ◇資産管理 ◇税務 など 文書の收受・管理、建物・車両等の管理 ◇契約事務 ◇文書管理・保存 ◇各種届出 ◇建物防火管理 ◇車両点検等

2 計画推進・調査・広報・連絡調整

(1) 第5次地域福祉活動計画(WE LOVE♥東村山プラン)の推進

項目	実績
事務局会議の開催	第5次地域福祉活動計画の推進について検討を行った。 開催回数；12回/事務局職員；10名、 内容；推進委員会の開催に向けて(委員の選出、役割、内容、進め方等)、 計画の推進について(重点アクションの進め方、アクションPT、地域懇談会のあり方、広報等) 他
推進委員会の開催	第5次地域福祉活動計画の推進について、検討を行った。 ①開催；6月18日(火)18:00~20:00 地域福祉活動室 推進委員；8名、事務局；9名 内容；副委員長の選出、活動計画の進捗状況報告(重点アクション活動、地域懇談会開催状況、広報他) ・活動計画、重点アクションの推進について、広報について 他

	<p>②開催；9月30日（月）18:00～20:00 地域福祉活動室 推進委員；7名、事務局9名 内容；第1回推進委員会以降の活動について（令和元年6月～9月） 今後の重点アクションの推進について（課題と検討）、広報活動 他</p> <p>③開催；2月3日（月）18:00～20:00 地域福祉活動室 推進委員；7名、事務局9名 内容；第2回推進委員会以降の活動について（10月～令和2年1月末） 重点アクションの推進について（課題と検討）、広報活動、中間報告会の開催について、アクションチーム交流会について 他</p>
計画のPR	<p>○福祉だより（各号に掲載） ・推進委員会報告、アクションプランの進捗状況、地域懇談会の開催案内 他</p> <p>○SNSを使った広報 ・Facebook；アクションレポート（動画）、地域懇談会の開催案内、報告 他 ・Twitter；地域懇談会の様子 他</p>
計画の推進	<p>地域住民、関係機関、社協職員等で構成されるアクションチームで検討し、活動を推進した。重点アクション①については各町のあいさつ運動推進委員会等の組織をアクションチームと位置づけた。</p> <p>また、各町において、地域懇談会を開催し、計画の説明、意見交換などを行った。恩多町では、「WE LOVE 恩多町プラン推進委員会」を立ち上げ、活動の検討を行った。</p> <p>○重点アクション①「あいさつ+ひと言運動」 ・各町の実行委員会等を中心に活動について、検討、実施した。 （萩山町、野口町、富士見町、恩多町）</p> <p>○重点アクション②「町なか護美プロジェクト」 ・地域懇談会にて、取り組みの意見交換を行った（栄町）</p> <p>○重点アクション③「子ども協力員」の検討・募集 ・夏体験ボランティアに参加した、小・中学生に声掛けをし、活動をスタート。 ・はじめの一步の会（9/7・土）を開催。愛称が「ボラチル」に決定。 ・活動；ボランティアまつり、活動計画等の活動をPRするレポーターなど</p> <p>○重点アクション④「行きたくなる場所&場づくり」 ・サロンスタッフ交流会を東部エリア、北部エリアで実施 ・居場所の情報収集を実施</p> <p>○地域懇談会；開催状況については、P6「地域ネットワーク活動の支援 地域懇談会開催」を参照。</p>

（2）第5次社協発展・強化計画の推進

項目	実績
発展・強化計画の進行管理	係ごとに年間事業実施計画を作成し、管理職と係長・主査職による局会議において進行管理を行った。

市・社協総合調整会議の開催	<p>地域福祉の推進に向け、市と社協の役割を検討し、事業のあり方について総合的に調整することを目的として、総合調整会議を開催した。</p> <p>令和元年度は、重点的に協議を行う5事業について2回の会議を開催し、今後の方向性等について話し合った。</p>
---------------	---

(3) 広報（発展・強化計画関連事業）

項目	実績
福祉だよりの発行	<p>第207号（5/1発行） 第208号（7/1発行） 第209号（10/1発行） 第210号（12/1発行） 第211号（3/1発行）</p> <p>今年度は第207号を特集号とし、団体・賛助会員の紹介と、法人化50年のあゆみを年表にして、市民への感謝と社協理解に向けたわかりやすい広報に努めた。</p>
ホームページ・SNS	<p>社会福祉協議会、東村山ボランティアセンターのホームページ運営</p> <p>Facebook、Twitterでは「ぼんたくんのまちづくり日記—東村山市社協—」を展開し、活動計画を中心に地域の活動について幅広い世代へ情報提供を行った。</p>
出前講座	<p>社協事業や福祉制度への理解を深めるために、職員の専門知識を活かして出前講座を開催した。</p> <p>令和元年</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇6月3日「成年後見制度と地域福祉権利擁護事業」（東村山市民生委員・児童委員協議会） ◇7月23日「熱中症について」（東村山美容組合） ◇2月2日「災害時のトイレについて」（東住自治会） <p>※3月にも依頼があったが、新型コロナウイルス感染症の影響により2件中止</p>
その他広報活動	<p>各種イベントに「ぼんたくん」が登場するようにし、イメージキャラクターを通じて社協事業を広報した。また、商店・事業所等の協力を得て、社協情報の広報紙やポスターの掲示、募金箱の設置等を行う「福祉協力店」事業を行い、社協活動のPRに努めた。</p> <p>（令和2年3月31日現在：28店舗）</p>

(4) 関係機関との連携・連絡調整

項目	実績
関係機関・団体との連携	<p>(1) 東村山市高齢者福祉施設連絡会</p> <p>東村山市高齢者福祉施設連絡会の事務局を法人運営係が担当した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設長会議 4回 ・事務局会議回 5回 ・第35回お年寄りの手作り作品展 日程；令和元年10月4日（金）～6日（日） 会場；東村山市立中央公民館1階展示室 作品数；447点 入場者数；725名 ・テーマ別研修会；「あなたの振る舞い大丈夫！？～日々の接遇を振り返る～」 日程；令和元年10月29日（火）18:30～20:00 会場；東村山市社会福祉協議会 地域福祉活動室

- ・となりのホーム（市内高齢者福祉施設見学会）
→新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止
- ・栄養士研修；新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止
- ・短期派遣研修（介護職員、栄養士）；派遣12施設／受け入れ8施設
- ・施設交流会（令和元年度11月22日）
- ・各種委員会などへの委員選出・推薦

(2) 東村山市内社会福祉法人連絡会

事務局を東村山市社会福祉協議会が担当した。

- ・全体会 3回（第4回は新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止）
- ・幹事会 11回
- ・研修会（理事長・施設長対象）9月17日（火）15:00～16:30
「高齢者への食支援 フレイル予防と健康長寿の秘訣」
講師；公益社団法人東京都栄養士会 会長 西村 一弘 氏
- ・地域公益活動に関する事業
 - (1) 暮らしの相談ステーション；
 - ・相談事業の実施（27法人、相談窓口35カ所）
 - ・相談件数（実数）25件 / 相談援助回数（延べ）99件
 - ・相談事業担当者研修 9月11日（水）18:00～19:30
平成30年度「暮らしの相談ステーション」活動実績報告・情報交換
※社協の相談実績についてはP20を参照。
 - (2) 「介護予防大作戦 in 東村山」への参画
 - ・法人連絡会より中央大会実行委員を選出。
 - ・各町の地域開催では、会員法人から地区推進委員や会場提供、講師派遣などの参加をした。
 - (3) 第2回フードドライブの実施
 - ・実行委員会の開催；全4回、第4回はアンケートにて実施
 - ・食品の収集；1月20日（月）～28日（水）提供；7法人
 - ・食品集約・分類；1月29日（木）～30日（木）参加；5法人
 - ・配分団体；1月31日（金）：8団体、10事業へ配分した。
- ・啓発事業
 - (1) つながれ ひろがれ 地域の輪 inTOKO への参加（9～11月）
 - ・会員法人の施設見学会、イベント、法人連絡会パネル展でエントリー
 - ・パネル展；10月28日（月）～11月1日（金）パネル 23法人
見学者 293名
 - ・オープン施設見学会；6法人
 - ・イベント；7法人 9月7日～11月30日 各法人施設
 - (2) 地域活動マッチングイベント
令和2年2月15日（土） 市民スポーツセンター 第一体育館
連絡会として出展（他、出展法人／3法人）

	<ul style="list-style-type: none"> ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・「福祉のしごと 相談・面接会」（東京都福祉人材センター、社協共催） ・日時：2月8日（土）13:30～16:00 サンパルネコンベンションホール ・参加；12団体（10法人、2事業所） 参加者；64名

（5）実習受入

項 目	実 績
受入	<p>社会福祉士を目指す学生を対象に、社会福祉援助技術現場実習の受け入れを行った。</p> <p>◇首都大学東京1名 ◇帝京平成大学2名 ◇東京学芸大学2名 ◇日本福祉教育専門学校2名 ◇文京学院大学1名 ◇武蔵野大学1名 ◇明星大学2名 ◇早稲田大学1名 ◇日本社会事業大学2名 合計14名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（5/13）、第1回報告会（7/6）、最終報告会（12/7）を実施。（第2回報告会10/12は台風のため中止） ・その他、見学実習の受入、実習担当者会議の開催等を行った。